

地域資料叢書 20

高知県近現代資料集成 I

— 目録集 —

高知戦争資料保存ネットワーク編

『高知県近現代史料集成 I 一 目録集一』の刊行に寄せて

2016 年に県内有志で結成した高知戦争資料保存ネットワーク（以下「資料ネット」）では、家庭に残された県内の近現代資料の散逸を危惧し、同年 5 月から毎月 1 回、のべ 50 回以上の資料調査を続けてきました。この間、50 件、3000 点以上の資料を整理し、資料撮影および目録を作成しました。資料は全て中性紙封筒に入れるなど保存処理を施し、目録とともに所蔵者に返却しています。資料の多くは、ご家庭に残された遺品とも呼べるものですが、所蔵者の方々の「高知の近現代史を明らかにしていく歴史資料として活用してほしい」との思いを受けて、資料ネットでは資料の画像データや資料目録の公開に向けた準備を進めてきました。

活動が 5 年目に入り、公開に向けた整理が進んできた本年、オーテピア高知図書館の協力を得て、資料ネットが整理した資料のデータを収録した DVD を同図書館に収蔵していただきました。この動きと連動して、資料ネットでは DVD に収めた歴史資料の概要をまとめた『高知県近現代資料集成 I 一 目録集一』を第 1 弾として刊行しました。高知県の近現代史の調査研究や調べ物に、資料ネットの調査資料を活用する際の手引きにしていいただければと思います。

今回の『高知県近現代資料集成 I 一 目録集一』には、資料ネットのメンバーが所蔵する資料を中心に計 16 件 1058 点の資料目録を収録しました。日中戦争に従軍した兵士の記録や家族の交流を示す資料群、本県から旧満州（中国東北部）へ入植した人々の開拓や引き揚げに関する資料群、高知の空襲に関する資料群など多様な戦争関係資料のほか、明治期の北米移民や大正期・昭和初期の土佐史談会、昭和期の県投網連盟の資料も含まれています。

戦後 75 年、戦前の歴史を知る人たちは少なくなり、証言のみでその歴史を知ることは難しくなっています。そうした中で、当時の人たちが残した文献資料が、歴史を知る重要な資料となり、その重要性は今後ますます大きくなっていくものと思われます。本県では、1945 年 7 月の高知大空襲で多くの公文書や歴史資料が多く焼失したこともあり、近現代史の資料は調査が不十分で、公開されている資料も限定されています。また、被災を免れた家庭や地域に残る資料は十分調査が進んでいません。

資料ネットが調査してきた資料は、全て新出の歴史資料であり、高知県の近現代史を明らかにしていく手がかりとなるものです。『高知県近現代資料集成 I 一 目録集一』をお読みいただき、積極的に DVD に収録した資料群を閲覧、活用いただければ幸いです。

高知戦争資料保存ネットワーク代表
小幡尚（高知大学教授）

目次

『高知県近現代資料集成Ⅰ』の刊行に寄せて（小幡尚）	1
総説・目録集の見方（楠瀬慶太）	3
凡例	7

第1章 日中戦争関係資料

●DVD①

山崎久資料（KK1）	9
依光昇資料・依光浩美所蔵資料（SN1）	12
井上光喜墓碑資料（TW1）	15

第2章 満州関係資料

●DVD②

十川万山開拓団資料（KK2）	17
江川崎開拓団資料（KK5）	20
前田定資料（SN29）	23

●DVD③

山中茂久壹資料（ST2）	26
--------------	----

●DVD④

野木善保資料（SH2）	30
河野春生資料（SH1）	32
崎山ひろみ資料（SN6）	35

第3章 高知空襲関係資料

●DVD⑤

平和資料館草の家資料（SN5）	40
佐藤省三資料（KK3）	47

第4章 高知県関係近現代資料

●DVD⑥

森田家文書（SN9）	50
高知県投網連盟資料（KTR1）	53
入交好省資料（KK6）	58
土佐史談会資料（SN2）	60

総説・目録集の見方

楠瀬慶太

(高知戦争資料保存ネットワーク事務局・会計)

1、記録作成の経緯

(1) 収録資料の調査

『高知県近現代資料集成 I』として、オーテピア高知図書館（高知市追手筋 2 丁目 1-1）に収蔵した DVD に収められた 16 件の歴史資料は、2016～2020 年に行われた高知戦争資料保存ネットワーク（以下「資料ネット」）の定例会（月 1 回）に持ち込まれ、データ等で記録したものです。資料ネットには、歴史学を専門とする大学教員や大学院生、元教員ら戦争資料に関心のあるメンバーが毎回 15 人ほど参加しています（楠瀬 2019）。



クリーニング作業の様子

定例会に持ち込まれた資料はクリーニングした後、撮影し、中性紙封筒に入れます。定例会には、資料の保管者にもできるだけ参加してもらい、資料の概要や伝来の経緯などの聞き取りを行っています。参加できない場合は、保管者の自宅に伺い、聞き取りを行っています。その後、聞き取りや撮影した資料のデータをもとに資料目録を作成して、保管者に「資料保存の手引き」¹⁾（高知戦争資料保存ネットワーク編 2018・2019）とともに返却しています（図 1）。

(2) 資料目録の作成

資料ネットでは、東京大学文書館にならい「簡易版」「概要版」「詳細版」の 3 種類の資料目録を作成しています。資料の点数や大まかな内容などを記した「簡易版」、資料の伝来経緯や資料作成者の経歴、関連文献などを記した「概要版」、資料全点の内容（表題、宛先、年月日等）



定例会の様子

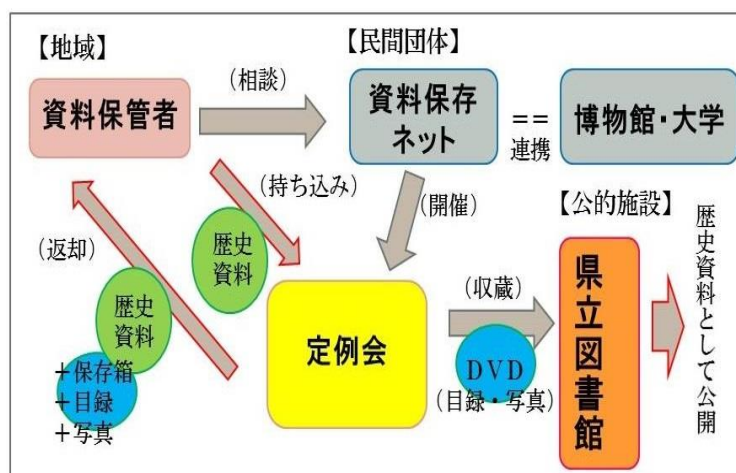


図 1 高知県における地域資料のアーカイブ化モデル

¹⁾「資料保存の手引き」は、オーテピア高知図書館や県内の市立図書館、博物館・資料館に配架していますので、資料保存の参考にしてみてください。また、高知戦争資料保存ネットワークのフェイスブック（FB）でも PDF 公開しています。

を記した「詳細版」の3段階の目録を、資料の重要度に応じて作成し、現資料とともに保管してもらっています。

3、『高知県近現代資料集成 I』について

上記のように資料ネットが整理してきた資料群のうち、保管者から公開許可が得られた資料の一部を『高知県近現代資料集成 I』として、DVDと目録集で公開します。これらの資料群は歴史資料として重要なものであり、まだ未解明な点が多い本県の近現代史の研究を進める目的で公開するものです。

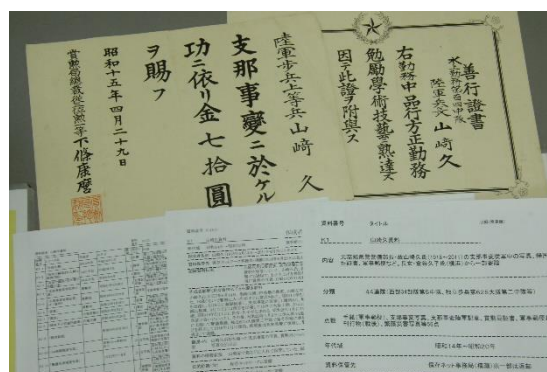
資料ネットは、日清戦争以後の戦争体験の記録や戦争資料の保存に努めてきたメンバーが、活動の過程で見つけた家庭や地域の資料が、散逸の危機に瀕している現状を危惧して結成した団体です（楠瀬 2016）。そのため、資料ネットではまずメンバーが関わってきた資料群を優先して記録してきました。資料ネットとして資料公開の第1弾となる『高知県近現代資料集成 I』には、こうした資料を多く収録しました。

まず、郷土部隊である 44 連隊からも多くの兵士の派兵があった「日中戦争関係資料」として、山崎久資料（KK1）、依光昇資料（SN1）、井上光喜資料（TW1）の3点を収録しました。山崎久資料では、中国の部隊に家族や友人らから届いた軍事郵便約 250 枚をまとめた「思出綴」が、戦地の兵士の元へ高知の地域の人が度々手紙を書いていた実態を明らかにする資料として重要です。また、依光昇資料には、部隊長であったがために検閲を逃れた手紙が多く含まれ、戦争の実態や兵士の思いを知ることができます。井上光喜資料は、日中戦争戦死者の石碑 3D データ記録です。

また、高知県が人口あたりの送出率では全国3位（1.4%）となる満州開拓団など旧満州（中国東北部）に関する資料群も多く収録しました。十川万山開拓団資料（KK2）、江川崎開拓団資料（KK5）には、北幡地域の分村開拓団に関する戦中・戦後の貴重な一次資料が多く含まれています。また、前田定資料（SN29）には満蒙開拓青少年義勇軍の写真アルバムが含まれており、多くの写真から青年たちの義勇軍や開拓団での生活実態を知ることができます。山中茂久資料（ST2）には、満州国成立前の当該地域の治安維持を担った関東局警察に関する一次資料が残されています。野木善保資料（SH2）には、終戦後の満州で結成された日本人居留民会の一次資料、河野春生資料（SH1）には満州の炭鉱に関する一次資料、崎山ひろみ資料（SN6）には、葫芦岛からの引揚船乗船者に配られた引揚の手引類など貴重な資料が含まれています。

高知県の空襲関係資料では、平和資料館草の家資料（SN5）に県内の防空組合・隣組に関する貴重な一次資料が含まれています。佐藤省三資料（KK3）は安芸空襲や高知市内の空襲に関するモノ資料が残されています。

高知県関係の近現代資料として、森田家文書（SN9）には海南中（現小津高）の明治期の教



現資料と3種類の資料目録

育に関する資料群、高知県投網組合資料（KTR 1）には昭和期の投網・陸網嗜好を知る資料群、入交好省資料（KK6）には明治期の北米移民の資料、土佐史談会資料（SN2）には大正・昭和期の史談会の地域活動を知る資料が含まれます。

このように資料ネットは、紙資料の撮影記録や目録作成を中心としながらも、石碑や葉莢などのモノ資料のデータ記録にも取り組んでいます。今後も幅広い近現代資料の記録に取り組み、順次資料を公開していければと考えています。

4、目録集の見方

目録集には、DVD に収録した 16 件の資料群の解題と「簡易版」「概要版」「詳細版」の 3 種類の資料目録を掲載しました。解題には、資料の来歴や記録の経緯、位置付け、特徴などを記し、特に注目すべき重要資料を「主要資料」として写真付きで数点紹介しています。写真データは DVD に収録されていますので、資料利用の参考にしてください。解題に「調査レポートあり」の記述がある資料群は、資料ネットが所蔵者や関係者に聞き取り調査を行っており、資料作成者に関するエピソードなどが調査レポート（非公開）に記録されています。資料ネットにお問い合わせいただければ、調査レポートに関する情報を一部提供させていただきます。また資料目録には、資料作成者の経歴や資料伝来の経緯・資料に関係した参考文献（概要版）、1 点 1 点の資料の詳細情報（詳細版）を記載しています。DVD の資料を閲覧する際のガイドとして、お使いください。

5、DVD の見方

『高知県近現代資料集成 I』として、資料ネットで記録してきた 16 件計 1058 点の資料の記録データ（資料目録、資料写真、関連文献データ）を計 6 枚の DVD に収録しました。各 DVD をパソコンで開くと、「山崎久資料」などと資料名の付いたフォルダが入っています。フォルダを開くと、エクセル形式の「資料目録」のデータと、「JPEG データ」「RAW データ²⁾」の資料写真を収めた 3 種類のフォルダがあります。重要資料には「PDF データ」のフォルダを設け、少し画質が落ちますが、資料写真を連続で見ることができる PDF を収めています。「JPEG データ」のフォルダには、デジタルカメラで撮影した 1 点ごとの資料写真が収められています。

「RAW データ」のフォルダには、JPEG データと同じ 1 点 1 点の写真がコピー等でも劣化しない高画質の RAW 形式で撮影された画像データが入っています。

オーテピア高知図書館で目録集を元に、DVD を閲覧または貸し出ししてもらい、研究に活用いただけましたら幸いです。

また、目録集と DVD に収録された資料の原本は、基本的に保管者の手元にあります。保管者や保管資料の情報、聞き取りで作成した調査レポートは資料ネットが管理しており、個人情報保護の観点で目録集と DVD には収録していません。調査レポートの閲覧や現資料の調査、保管者への聞き取りを行いたい方は、資料ネット事務局（kusukei31@yahoo.co.jp）へお問い合わせください。

²⁾ RAW データを収録していない資料群もある。

DVD に収められた資料写真の画像データの利用は、調査研究目的の利用であれば加工や転載も可能です。資料群は歴史資料であるとともに、保管者の親族の遺品でもあります。SNS 等でネット上に画像をむやみに上げることはご遠慮ください。また、論文や冊子等で画像や資料データを利用・掲載する場合は、資料ネット事務局にご連絡いただけましたら幸いです。

【参考文献】

小幡尚 2019「高知県の戦争資料」『資料学の方法を探る』18

楠瀬慶太 2016「高知戦争資料保存ネットワークの設立について」『地方史研究』383号

楠瀬慶太 2019「高知県における近現代資料の保存」『西南歴史文化論叢 よど』20号

高知戦争資料保存ネットワーク編 2018『高知の戦争資料を残す・伝える』高知大学小幡尚研究室

高知戦争資料保存ネットワーク編 2019『高知の歴史資料を残す・伝える』高知大学小幡尚研究室

凡 例

- 1 本目録は、「高知戦争資料保存ネットワーク」が作成した目録である。
- 2 目録は、資料群の点数や内容等の基礎情報を記した「簡易版」、作成者に関する情報や伝来の経緯などの詳細情報を記した「概要版」、資料1点1点の表題や概要を記した「詳細版」の3種類を作成した。保管者や作成者に関する情報を聞き取った調査レポートを作成しているが、目録集では公開していない。作成している場合は「調査レポートあり」と解題に記している。
- 3 簡易版目録は「資料番号」、「タイトル」、「内容」、「分類」、「点数」、「年代域」、「資料保管先」「調査者」の順に記載した。最後の「簡易」「概要」「詳細」は目録の作成情報、「○」は目録あり、「×」は目録なしである。
- 4 概要版目録は、「資料番号」、「タイトル」、「調査者」、「年代域」、「資料群の作成年月日」、「作成者名称」、「サイズ」、「資料保管先」、「記録資料伝来」、「作成者経歴」、「内容・点数」「資料の保管状態」、「法的位置づけ」、「時代の保管者・保管先」、「データ」、「出版情報」、「関連文献」の順に記載した。「資料群の作成年月日」とは、資料群が現在の形で整理された時期、「作成者」とは当時の資料群の主な執筆者（保管者）である。「データ」は資料ネットが撮影した資料の写真データの所在を指す。「○」は全てデータあり、「△」は一部データあり、「×」はデータなしである。「出版情報」は、資料群の資料に活字化されたものがある場合に記している。「関連文献」は、論文や書籍、新聞などで資料群の紹介がある場合に記している。
- 5 詳細版目録は、「資料名」、「資料番号」、「詳細番号」、「シリーズ名」、「作成者」、「年月日」、「点数」、「記述レベル」、「内容」、「公開可否」、「写真」、「現物」、「写真番号」の順に記載した。「シリーズ名」は、資料名で基本的には資料に記された表題を記している。表題が確定できない場合は〔 〕でくくり、[依光昇手紙]などと仮題を付けている。「記述レベル」は資料の形態分類である。「写真」は資料ネットが撮影した資料の写真データの所在を指す。「○」は全てデータあり、「△」は一部データあり、「×」はデータなしである。
- 6 資料中の旧字体や異字体は原則常用漢字などに改めた。破損などで判読不明の部分は■で表現した。判読などに疑問のある文字については（？）と記した。詳細版目録の「内容」中、「」は資料記載内容の引用である。
- 7 年代は史料に記載されたものを取り、推定・参考年代は（？）で記した。
- 8 本目録の編集・解題執筆は、楠瀬慶太が担当した。

第 1 章 日中戦争関係資料

(1) 解題

山崎久資料は、日中戦争（支那事変）を上海周辺で戦った高知の郷土部隊・日本陸軍歩兵第44連隊の兵士・山崎久（やまさき・ひさし）が残した資料群である。日中戦争期の軍事郵便綴や戦地で撮影された写真、従軍記章・証書のほか、山崎が所属していた44連隊・山中隊の隊員が戦後つくった組織「34山中会」の出版物『高知で編成された郷土部隊小史』（平成6年）、繁藤災害の写真など計56点。特に軍事郵便類がまとまった資料で、日中戦争期の兵士と家族の手紙を通じた交流の実態が伺えるものとして重要である。

山崎久は大正7年、須崎市生まれ。44連隊に所属し、日中戦争、太平洋戦争を戦い、昭和21年に復員し、戦後は高知県警に勤務（最終経歴は警備部長）。昭和47年の繁藤災害では捜索隊隊長を務めた。戦後、転勤で県内を転々とし、定年後高知市内に建てた家に従軍時の資料を保管していた。家の整理で資料は一部処分されたが、高知県立図書館を通して2016年6月資料ネットに相談があり、撮影記録・保存処理を行って保管者に返却した。調査レポートあり。

(2) 主要資料

●思出綴 (KK1-17)

山崎久が日中戦争従軍中（昭和15年5月～昭和16年8月）に友人や家族から届いた軍事郵便（約250枚）を1冊にまとめたもの。ハガキや封書だけでなく、雑貨などを送った際の封筒も残っている。兵士が家族に送った手紙は多く残っているが、兵士に送られた手紙は戦地で廃棄・紛失するケースが多い。出征した兵士に、高知県に住む家族や親族、友人が送っていた手紙の量や内容を知ることができる重要資料である。



●繁藤災害関連写真 (KK1-11)

災害救助に当たった警察官らを撮影した写真。計21点。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル					
KK1	山崎久資料					簡易版
内容	元高知県警警備部長・故山崎久氏(1918～2011)の支那事変従軍中の写真、帰国後にもらった証書、軍事郵便など。横浜市の親族から資料ネットに一部寄贈					
分類	44連隊(西部34部隊第5中隊、独立歩兵第625大隊第二中隊等)					
点数	手紙(軍事郵便)、支那事変写真、支那事変陸軍記章、賞勲局証書、軍事郵便集(約250枚)、刊行物(戦後)、繁藤災害写真等56点 (KK1-1～17、S1～15)					
年代域	昭和14年～昭和20年					
資料保管先	横浜市、一部は資料ネット					
概要	○	詳細	○	データ	写真・音声	高知戦争資料保存ネットワーク
			調査者	楠瀬慶太	作成年月日	2016年7月4日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル					高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
KK1	山崎久資料			調査者	楠瀬慶太	作成年月日	2016年7月6日
年代域	昭和14年～昭和20年			資料群の作成年月日		不明	
作成者名称	山崎久(1918年6月14日～2011年4月27日)			サイズ			
資料保管先	横浜市、一部は資料ネット						
記録資料伝来	山崎久氏は復員後、高知県警に復帰。県内を転々とするが、定年後に建てた高知市朝倉丙の家に従軍時の資料を保管していた。山崎久氏、妻の敦子氏が死去後、横浜市在住の親族が高知市の実家を整理する過程で、おたき上げを検討していたが、資料ネットが重要資料として一部を寄贈いただいた。調査後に資料の写真・目録のDVDは親族にも渡し保管してもらった。						
作成者経歴	山崎久(やまさき・ひさし)は大正7年6月14日、須崎市浦ノ内鳴無の農家、山崎左吉の次男(4人きょうだい。長女、次女は若くして病気で亡くなる)として生まれた。18歳ぐらいで警察に入ったがすぐに徴兵された。昭和14年5月3日に高知市朝倉の44連隊に留守隊に応召。昭和15年5月30日に宇品港を出港し、6月8日に蕪湖到着し、支那事変に従軍(上海周辺)。輸送船警備を経て水上勤務第104中隊、昭和16年8月5日から騎兵第55連隊に転属、8月12日には南京を出発して19日に大阪上陸。20日に召集解除され帰高して妻敦子氏(1924年7月7日～2014年12月10日)と結婚。昭和19年5月1日に長女が生まれる。昭和20年1月に44連隊に再入隊(広島にも行っている、敦子は生まれたばかりの長女を連れて兵営に会いにいった)。その後、昭和20年1月9日に歩兵第44連隊補充隊に応召。1月21日に博多を出て釜山を経て2月8日に福建省閩安鎮に上陸して警備勤務。独立625大隊第二中隊で集号作戦に参加。7月17日～8月13日に松江付近で陣地構築・警備。終戦後は寧波、上海などを經由して1946年1月に復員。終戦後は高知県警に復帰し、警備畑を歩む。1974年の繁藤災害では捜索隊の隊長を務める。警備部長(警視正)で退職。2011年に死去。						
範囲・内容	山崎久が持ち帰った支那事変の写真、賞勲局からの賞状・陸軍記章、戦時期に家族から送られた手紙(軍事郵便)集、繁藤災害の写真など56点						
資料の保管状況	紙やけはあるが、虫食いはなし。資料の保存状態は良い						
法的位置づけ	横浜市の親族が保管、一部は資料ネット						
次代の保管者・保管先							
利用条件	公開可						
データ	写真データ・音声						
出版情報	一部出版物あり(詳細版参照)						
関連文献	『高知で編成された郷土部隊(案)』『高知で編成された郷土部隊小史』(いずれも自費出版)						

(5) 詳細版目録

資料名 山崎久資料				資料 番号	KK1(1～17、S1～15)					
詳細 番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述レ ベル	内容	公開 可否	写 真	現 物	写真 番号
1	「会員名簿」	34山中全会	平成16年1月	1	名簿	冊子。44連隊山中隊の生存者会の名簿。写真はPDFデータ。※個人情報あり	△	○	○	KK1-S1
2	「高知で編成された郷土部隊《案》」	34山中全会	平成5年7月	1	隊誌	出版物。高知で編成された部隊の概要や足取りをまとめたもの。『高知新聞』1993年8月14日朝刊15面「やいろ鳥」に紹介記事あり。記事の紙刷りを書籍の最後に付けた。	○	×	○	-
3	「高知で編成された郷土部隊小史」	34山中全会	平成6年8月	1	隊誌	「高知で編成された郷土部隊《案》」の改訂版。地図や資料などはなくなりコンパクトに。	○	×	○	-
4	「支那事変従軍記章之證」	賞勲局	昭和15年4月29日	1	記章証明書	「賞勲局」が「陸軍歩兵上等兵 山崎久」に発行した支那事変従軍記章の証明書。「賞勲局総裁 下條康鷹」、「賞勲局書記官 村田八千穂」の署名・印あり	○	○	○	KK1-S2
5	「支那事変従軍記章」(モノ資料)	賞勲局	昭和15年4月29日	1	従軍記章	支那事変の従軍記章。木製の箱にメダルが入っている。	○	○	○	KK1-S3-1～5
6	「恩賞」	賞勲局	昭和15年4月29日	1	恩賞	「賞勲局」が「陸軍歩兵上等兵 山崎久」に金七〇を支那事変の功績により下賜した証書	○	○	○	KK1-S4
7	「賞詞」	小笠原敬之	昭和16年2月1日	1	賞状	「水上勤務第四百四中隊長陸軍中尉従七位 小笠原敬之」が「陸軍兵長山崎久」に「一等兵ノ模範タリ」として贈られた賞状。	○	○	○	KK1-S5
8	「陸軍下士官適任證書」	川嶋吉蔵	昭和16年8月26日	1	証明書	「西部第三十五部隊長陸軍中佐従五位勲三等川嶋吉蔵」が「陸軍兵長山崎久」を「兵科下士官適任ノ者ト認定ス」とした証明書	○	○	○	KK1-S6
9	「教育勅語」		明治23年10月30日	1	教育勅語	「教育ニ関スル勅語」は、明治天皇が山縣有朋内閣総理大臣と芳川顕正文部大臣に対し、教育に関して与えた勅語。以後の大日本帝国において、政府の教育方針を示す文書となった。一般的に教育勅語という。1890年(明治23年)10月30日に発布。当文書は、山崎久が親戚の教員から戦後もらったという教育勅語(親族談)。	○	○	○	KK1-S7
10	「44連隊関連写真」		昭和13～昭和20年?	25	古写真	支那事変の従軍中に撮影した部隊の写真、出征前に撮影した親族の写真など。ニューギニア慰霊の写真2枚を含む	○	○	○	KK1-S8-1～25
11	「繁藤災害関連写真」		1972年7～8月	21	古写真	高知県土佐山田町繁藤で起きた1972年7月5日に集中豪雨に伴い発生した土砂災害「繁藤災害」の救助や捜索の様子を撮影した高知県警の資料。所有者・山崎久は当時捜索隊の隊長で、アルバムにはあった写真をカメラで撮影した。	○	○	×	KK1-S9-1～21
12	「軍歴証明書綴コピー」	?	戦後	1	軍歴証明書	山崎久氏の戦前の軍歴を記した書類綴のコピー。用紙に「陸軍兵□」とあるので、自衛隊保管の軍歴証明書か。「賞典」の項に「軍歴証明書発行済昭和56年9月8日」とあり、高知県世話課が発行する軍歴証明書(K1-13)の元資料か。昭和16年以降の項には紙がはり足されている。	○	○	×	KK1-S10
13	「軍歴証明書」	高知県世話課	昭和56年9月8日	1	軍歴証明書	山崎久氏の戦前の軍歴を記した書類。高知県福祉生活部世話課が昭和56年9月8日に発行。	○	○	×	KK1-S11
14	「軍人軍属履歴申立書」	山崎久	昭和56年?	1	申立書	山崎久氏が軍歴証明書の経歴の修正申請をした際の申立書。書類の発行者は高知県世話課か。	○	○	×	KK1-S12
15	「兵役経歴書」	山崎久	?	1	経歴書	山崎久氏の自筆の兵役経歴書メモ	○	○	×	KK1-S13
16	「兵役経歴書」	山崎久	?	1	経歴書	山崎久氏の自筆の兵役経歴書メモ(原稿用紙に裏表書き)	○	○	×	KK1-S14
17	「思出綴」	山崎久	昭和15年～16年	1	軍事郵便集	山崎久氏が支那事変に従軍中(昭和15年5月～昭和16年8月)に友人や家族から届いた軍事郵便(約250枚)を1冊にまとめたもの	○	○	×	KK1-S15-1～651

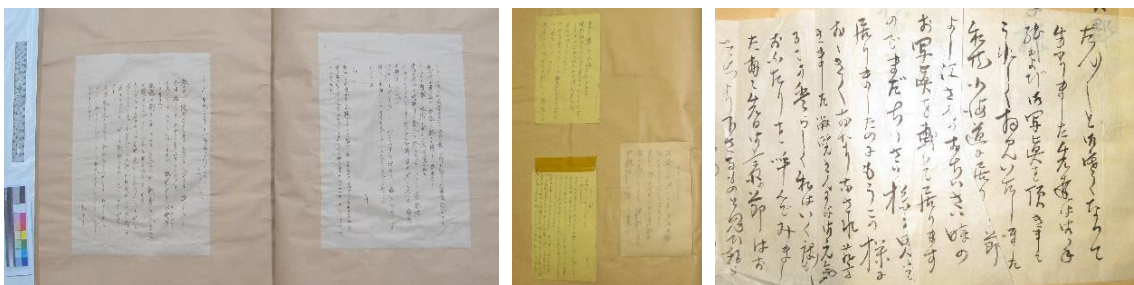
(1) 解題

陸軍歩兵第44連隊で日中戦争に従軍した香美市出身の軍人・依光昇（1902～1976）の資料群。中隊長（陸軍中尉のち大尉）だったためか、家族に送った軍事郵便類（SN1-1～5）に貼付した約300通には検閲が行われておらず、戦闘や部隊の具体的な状況が記されている。また、浦東捕虜収容所で責任者を務めていたようで、中国兵の捕虜が記した文書をまとめた冊子（SN1-6）、戦地の中国南部で撮影した写真アルバム（SN1-7）、部隊員の実家住所を記した名簿（SN1-9）もあり、日中戦争に参戦した高知部隊（百田部隊・石井部隊）の実相を知る計12点の貴重な資料群である。鏡野中教諭がまとめた冊子「佐岡空襲」（SN1-12）も香美市土佐山田町佐岡の空襲に関する記録資料（依光浩美所蔵資料）として重要である。遺族が保管していた資料を、資料ネットで撮影・記録し、保管者に返却した。調査レポートあり。

(2) 主要資料

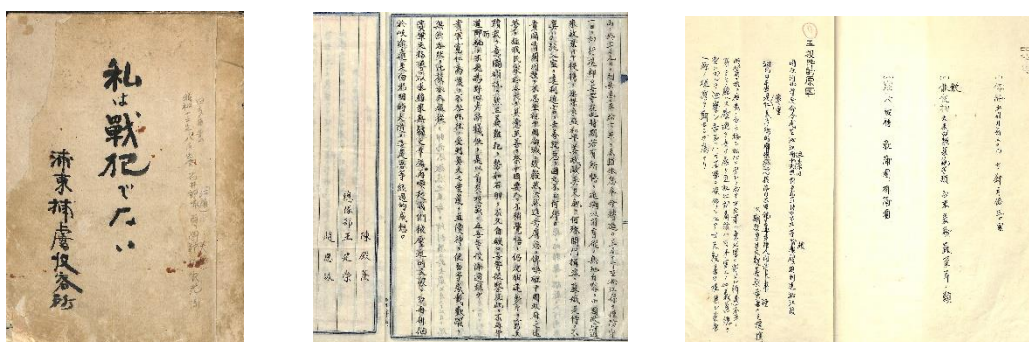
●スクラップブック（SN1-1～5）

計約300通の軍事郵便（主に便せん）が貼られたスクラップブック（5冊）。日中戦争期に中国から香美市の実家に送った手紙類が中心。依光昇の「履歴書」や「名刺」、当地の「領収書」なども貼られている。妻に送った手紙が多く、「敵軍から手紙が来る（中略）俺の首に（中略）五千円の懸賞がついている」「戦地戦傷は戦の常なれど、部下の死を見るのは身を殺される様な気がする」など戦地や戦闘の状況がつぶさに記されている。



●「私は戦犯ではない 浦東捕虜収容所」（SN1-6）

依光昇が浦東捕虜収容所の責任者をしていた際に、中国人捕虜に聞き取り（筆記）させた文書綴。「投降的理由」「現在の心境」「日支事変の原因」「與日本軍交戦否？」「給與」などが記されている。文中に日本語で依光昇の翻訳文が所々記されている。日中戦争における中国人捕虜自身が記した一次資料で、当時の捕虜の実態を知る重要資料である。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル	簡易版
SN1	依光昇資料・依光浩美所蔵資料	
内容	日中戦争に歩兵第44連隊の陸軍中尉として従軍した依光昇(1902～1976)の資料群。中隊長だったためか、家族に送った軍事郵便類(スクラップ5冊)には検閲が行われておらず、戦闘や部隊の具体的状況が記されている。また、浦東捕虜収容所で中国兵の捕虜が記した文書をまとめた冊子もあり、日中戦争の高知部隊(百田部隊・石井部隊)の実相を知る貴重な資料である。鏡野中教諭がまとめた冊子「佐岡空襲」も香美市土佐山田町佐岡の空襲に関する記録資料として重要である。	
分類	日中戦争(44連隊)、後備歩兵第三大隊第四中隊、浦東捕虜収容所、佐岡空襲	
点数	20点(軍事郵便スクラップ、部隊名簿、捕虜収容所聞き取り記録)	
年代域	昭和12～20年、2003・2017年	
資料保管先	香美市	
概要	○	詳細 ○ データ ○ 高知戦争資料保存ネットワーク
	調査者	資料ネット・恒石節子 2020年12月9日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル	高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
ST2	依光昇資料・依光浩美所蔵資料	調査者 資料ネット・恒石節子・依光浩美	作成年月日 2020年12月4日
年代域	昭和12～20年、2003・2017年	資料群の作成年月日	戦後に整理
作成者名称	依光昇	サイズ	
資料保管先	香美市		
記録資料伝来	依光昇が残した資料を家族が自宅で保管していた。		
作成者経歴	依光昇(よりみつ・のぼる)は、明治35年4月15日、香美郡明治村中野生まれ。明治村で初めて県立一中(城東中)に入学。大正11年12月一年志願兵として歩兵第44連隊に入隊。昭和12年8月44連隊補充隊に応召、9月に坂出から出征し、呉松鎮上陸して日中戦争に従軍(陸軍中尉)。連隊の百田部隊・石井部隊に所属し、中隊長を務めた。浦東捕虜収容所の責任者も務める。昭和15年4月に上海を出発して帰国。昭和17年2月には予備役復帰。昭和20年4月臨時編成(復員)下令 高知連隊区司令部に勤務(高知県庁の東100m)、9月には陸軍大尉に。10月に召集解除。戦後は中野で農業に従事、公職追放となる。昭和51年5月17日に死去。		
内容・点数	20点(軍事郵便スクラップ、部隊名簿、捕虜収容所聞き取り記録)		
資料の保管状態	良好		
法的位置づけ	親族が所蔵		
次代の保管者・保管先	寄贈・寄託を計画		
利用条件	公開可		
データ	○		
出版情報			
関連文献	高知ミモザの会2009『戦地から土佐への手紙』		

(5) 詳細版目録

資料群名 依光昇資料・依光浩美所蔵資料				資料 番号	SN1						
詳細 番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量・ 規模	記述レ ベル	内容	公開 可否	写 真	現 物	種 類	写真 番号
1	戦地から 出征百田部隊	依光昇	昭和12～15年	1	スクラ ップブ ック	約100通の軍事郵便(主に便せん)が貼られたスクラップブック。日中戦争期に中国から香美市の実家に送った手紙類。60頁。依光昇の「履歴書」が挟まる。	○	○	○	紙	SN1-1～32
2	戦地から 百田部隊	依光昇	昭和12～15年	1	スクラ ップブ ック	約50通の軍事郵便(主に便せん)が貼られたスクラップブック。日中戦争期に中国から香美市の実家に送った手紙類。50頁。	○	○	○	紙	SN2-1～28
3	戦地から 石井部隊	依光昇	昭和12～15年	1	スクラ ップブ ック	約50通の軍事郵便(主に便せん)が貼られたスクラップブック。「上海呉松路第四八六号 実業百貨店」等で提灯や花、線香を買った領収書、「嘉定警備隊長 陸軍歩兵中尉依光昇」の名刺が貼られている。60頁。	○	○	○	紙	SN3-1～31
4	戦地から 銃後の方から	依光昇	昭和12～15年	1	スクラ ップブ ック	約50通の軍事郵便(主に便せん)が貼られたスクラップブック。日中戦争期に中国から香美市の実家に送った手紙類、高知から依光の元へ送られた手紙が貼ってある。60頁。	○	○	○	紙	SN4-1～32
5	戦地から 石井部隊	依光昇	昭和12～15年	1	スクラ ップブ ック	約50通の軍事郵便(主に便せん)が貼られたスクラップブック。日中戦争期に中国から香美市の実家に送った手紙類。50頁。	○	○	○	紙	SN5-1～35
6	私は戦犯ではない 浦東捕虜収容所	依光昇・中国人捕虜	昭和12～15年・戦後	1	冊子	依光昇が浦東捕虜収容所の責任者をしていた際に、中国人捕虜に聞き取り(筆記)させた文書綴。「投降の理由」「現在の心境」「日支事変的原因」「與日本軍交戦否?」「給與」などが記されている。文中に日本語で依光昇の翻訳文が所々記されている。平成25年3月に文書を冊子化した長男・依光淑暁氏の経緯書きが巻末にある。写真とPDFでデータで記録。	○	○	○	紙	
7	アルバム	依光昇	戦前	1	アルバ ム	主に日中戦争期の写真を貼った依光昇の写真アルバム。	○	○	○	紙	SN6
8	昭和二十年六月敗戦独 国を顧みて	依光昇	昭和20年6月	1	冊子	ドイツの敗戦を知り、依光昇が書いた文章。内政や外交、食料などの項目に分けて敗戦の背景を探っている。20頁。	○	○	○	紙	SN8
9	後備歩兵第三大隊第四 中隊名簿	依光 昇?	昭和13年		冊子	青焼き。部隊員の名前とその実家住所・家人の名前を記した名簿。隊員の訃報などを家族に知らせる為に使ったものか。	○	○	○	紙	SN9
10	〔写真一式〕		戦前	10	写真	依光昇を撮影した写真(計10枚)。アルバムとは別の写真。「肉弾三勇士記念碑」前で撮った写真や戦闘時の写真もある。	○	○	○	紙	SN1-10
11	〔依光淑暁作成メモ〕	依光淑 暁		1	文書	依光昇の履歴を長男・依光淑暁が書き起こしたメモ(2枚)。PDFデータ。	○	○	×	紙	
12	佐岡空襲－それぞれの 青春	網藤武 志	2003年 2月	1	冊子	鏡野中学校の教諭・網藤武志がまとめた佐岡空襲の記録。聞き取りを行い、地図や写真を加えて充実した記録資料に仕上がっている(私家版)。依光浩美所蔵資料。	○	○	○	紙	SN56-1

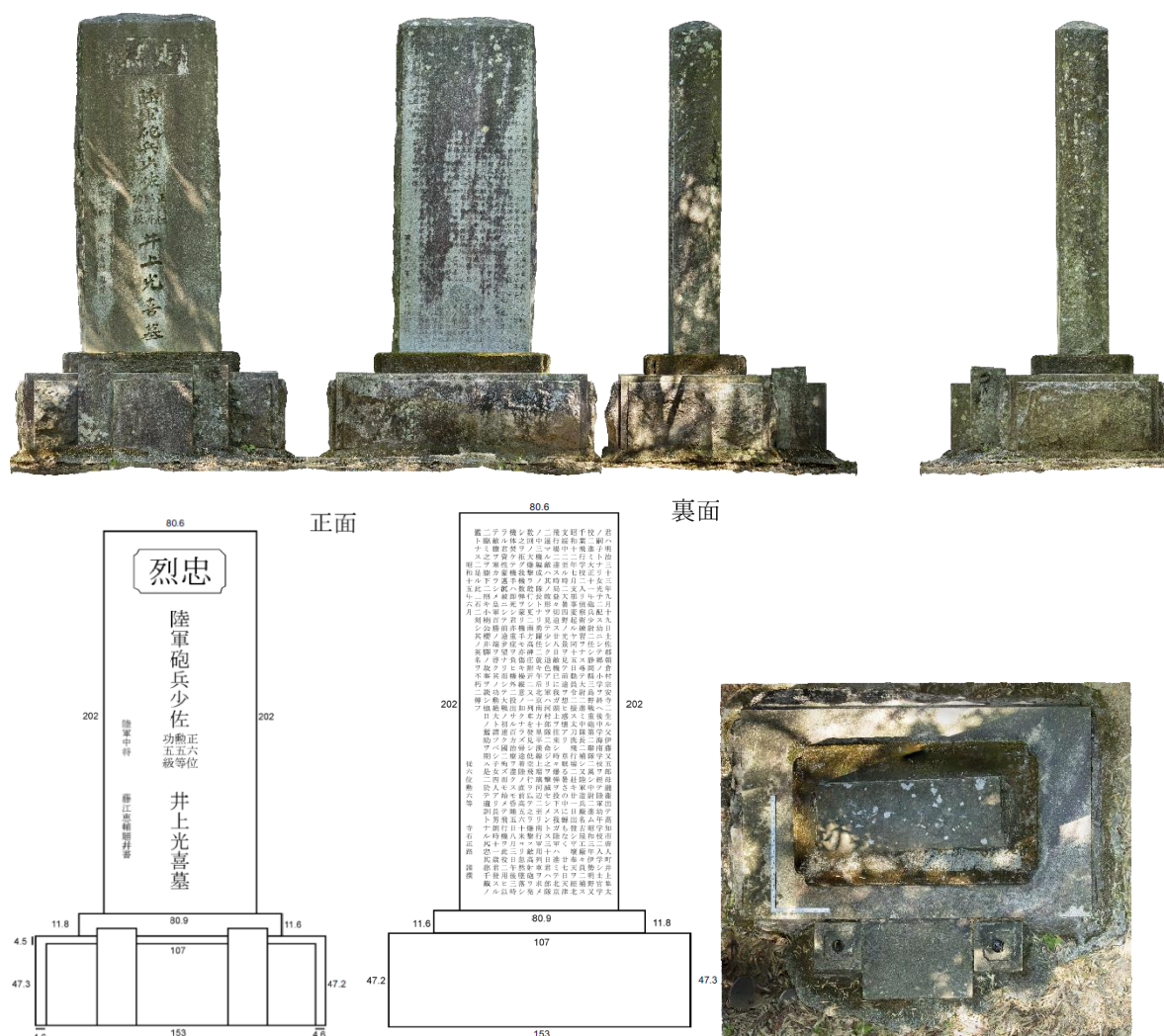
(1) 解題

1937 年、日中戦争で戦闘機に乗り敵軍の砲撃で戦死した陸軍砲兵少佐・井上光喜の墓碑（高知市筆山町）。側に津波避難道があり、地震での倒壊に供えて 2018 年に取り壊された。日中戦争初期の戦死者であり、石碑裏面の「戦ノ初速ク國二殉ズ而モ始メテ飛行機ヲ此役二用ヒ以、テ敵膽ヲ寒カラシメ皇軍百勝ノ端ヲ啓ク其ノ功勲絶大ト謂フベシ」の記述から国民の戦意発揚のために新聞等でその死が報じられ、それを契機に石碑が建てられたのではないかと推測される。墓碑には、戦場を前にして井上が詠んだ俳句「草眠る 暑さの中に 蟬もなく」も添えられている。高知コア研究所の谷川亘が記録のため倒壊前に撮影し、データ化（3D 画像化）した。調査レポートあり。

(2) 主要資料

●井上光喜墓碑記録

墓碑は 3D 化ソフトを使って、PDF・PNG・TIFF・動画ファイルの 4 種類にデータ化して記録保存している。墓碑の文章は書き下し文を作成。また、墓碑法量の計測も行っており、図面（PDF）化している。



第 2 章 満州関係資料

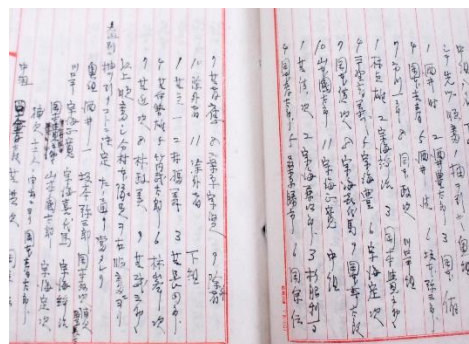
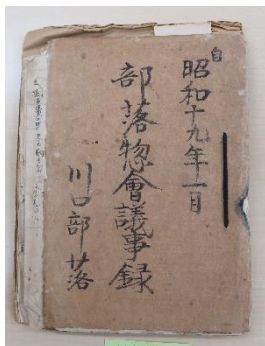
(1) 解題

旧満州濱江省葦河県万山に入植した旧幡多郡十川村（現在の高岡郡四万十町）の満州開拓団「十川万山開拓団」に関わる資料群 17 点。昭和 18 年 5 月に先遣隊を派遣して昭和 19 年 3 月に多くが渡満。計 547 人が分村して入植したが、敗戦後の混乱と難民収容所（黒竜江省ハルビン近くの街・阿城）での生活で団員の 6 割にあたる 361 人が亡くなった。県内で最も犠牲者の多かった開拓団。村は各部落の各組に人員割当を行ったが、人選が難航し、くじ引きで団員を選出しており、その実態が『部落惣会議事録』（KK2-7・8）に詳細に記録されている（加藤聖文 2017『満蒙開拓団』岩波現代全書）。『部落惣会議事録』は、国策による分村移民選出の実態を知る最末端史料として重要である。また、元開拓団員が引揚の壮絶な体験を描いたイラスト集「戦争が生んだ狂気」（KK2-11）も戦後の開拓団の実情を知る重要資料である。

(2) 主要資料

●『部落惣会議事録』（KK2-7・8）

昭和 16~20 年の旧十川村川口部落の部落会議事録。分村で満州へ渡る団員を決める部落内の協議や渡満する団員の土地・財産整理の過程が詳細に記録されている。関連資料は『満州国第十二次集団万山十川開拓団史資料集』として刊行されている。



●イラスト集「戦争が生んだ狂気」（KK2-11）

十川万山開拓団員として 19 歳で満州に渡った田辺末隆氏が 50 歳ごろに記した 27 枚・49 カットのイラスト集。色鉛筆などで開拓地からの脱出、逃避行、難民収容所での生活を克明に記している。自決用の青酸カリが団員に手渡される様子や峠越えを前に田んぼに捨てられ泣き叫ぶ赤ん坊、発疹チフスで亡くなりむしろにくるまれて壕に捨てられる遺体、道端に落ちた人の足や腕を食らう野犬などが描かれ、開拓団の悲惨な体験が描かれている。また、資料群には田辺氏が自身の満州での体験を描いた油絵 25 点も残る。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル	簡易版				
KK2	十川万山開拓団資料					
内容	高知県旧幡多郡十川村(現四万十町)から分村で満州に開拓入植した万山開拓団に関わる資料群。満州分村計画や入植者名簿、十川村川口地区の部落総会資料、元開拓団員が戦後作成した絵画資料など。					
分類	満州開拓団					
点数	16点					
年代域	1941年(昭和16年)～1970年代					
資料保管先	四万十町役場十和振興局					
概要	○	詳細	○	データ	○	高知戦争資料保存ネットワーク
			調査者	楠瀬慶太		作成年月日2018年2月4日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル	高知戦争資料保存ネットワーク				概要版
KK2	十川万山開拓団資料	調査者	楠瀬慶太	作成年月日	2018年2月4日	
年代域	1941(昭和16)年～1970年代	資料群の作成年月日	1980年代			
作成者名称	田辺末隆	サイズ				
資料保管先	四万十町役場十和振興局					
記録資料伝来	『万山十川開拓団史資料集』(1982年・十和村教育委員会)の発行時に、元十川万山開拓団員の田辺末隆氏が中心になって資料を集めてまとめた。資料は田辺氏が管理していたが、後に甥で開拓団員の岡本利一郎氏に引き継がれ、現在は四万十町役場十和振興局に保管されている。					
作成者経歴						
田辺末隆さんは大正11年8月1日生、旧昭和村の出身。5男5女の10人家族で末隆さんは5男。家は農家で、徴兵に合格して散髪屋をやっていた。十川村から開拓団先遣隊を出すことになり、十川の一級下の谷崎さんから「行こうよ」と誘われたが、自分1人では判断できんからと兄貴に相談した。こっちにおったち食えんということで満州に(当時20歳)。本山へ訓練に行って(20日間)、向へ渡ってハルピンのキカン農民訓練所でまた20日間いた後、満州万山の入植地へ。開拓団は終戦後の混乱で6割以上に当たる361人が犠牲となり、田辺さんは終戦の翌年9月に引き揚げ。50歳を過ぎて油絵を学び、満州での体験を油絵やイラストにし、資料集をまとめるなど分村開拓団の歴史を残そうと活動してきた。						
内容・点数	16点(満州分村計画書、部落惣会議事録、引き揚げ体験を描いたイラスト・絵画)					
資料の保管状態	良好					
法的位置づけ	四万十町役場十和振興局の保管・管理					
次代の保管者・保管先						
利用条件	公開可					
データ	○					
出版情報	『万山十川開拓団史資料集』(1982年・十和村教育委員会、2020年・四万十町人権教育研究協議会十和支部)で一部活字化、イラストはイラスト集『戦争が生んだ狂気』(四万十町人権教育研究協議会、2015年)として刊行されている。					
関連文献	高知新聞連載「慰霊の旅 万山十川開拓団」(1983年)					

(5) 詳細版目録

資料群名 十川万山開拓団資料					資料 番号	KK2				
詳細 番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述レ ベル	内容	公開 可否	写 真	現 物	写真 番号
1	写真		戦後	6	写真	満州開拓者の墓碑(3点)、十和にある満州開拓殉難の碑(1点)、慰霊祭(1点)、分村計画書(1点)の写真など	○	○	○	S1 ~6
2	写真		戦後	1	写真	満州開拓者の墓碑の写真	○	○	○	S7
3	「昭和18年度満洲移民計画 川口部落」	川口部落	昭和18年	1	簿冊	満洲移民計画に関する書類綴	○	○	○	3
4	「満洲分村先遣隊員 本隊員名簿 並ニ扶助金支払明細書」	川口部落	昭和18年 8月28日	1	簿冊	堅帳。満洲分村の先遣隊員・本隊員の名簿と隊員に支払った扶助金の支払明細書	○	○	○	4
5	「第十二次十川開拓団死亡者名簿」	田辺末隆	昭和50年 3月	1	簿冊	戦後につくられた十川開拓団の死亡者名簿。没年と死亡場所を記す	○	○	○	5
6	「昭和十八年三月以降開拓渡満者名簿」	十川村■ ■	戦後	1	簿冊	十川村がまとめた開拓渡満者名簿。渡満者の出身地番や家族構成などの名簿のほか、引き揚げ者名簿、県農地部による引き揚げ者実態調査票なども綴じ込まれている。	○	○	○	6
7	「自昭和十九年一月 部落惣会議事録」	川口部落	昭和19年	1	簿冊	昭和19年1月以降の川口部落の惣会議事録。満洲分村事業の最末端資料。	○	○	○	7
8	「自昭和十六年十二月二十九日 部落惣会議事録」	川口部落	昭和16～ 18年	1	簿冊	昭和18年12月以降の川口部落の惣会議事録。分村入植の割り当てが行われ、集落での取り決めに惣会が紛糾した様子や、くじ引きにより入植者を決めた様子が記録される。満洲分村事業の最末端資料。	○	○	○	8
9	スケッチブック	田辺末隆	1970年代 以降	1	絵画	万山開拓団員、田辺末隆氏が50歳を過ぎて、開拓団での引き揚げの苦難を回顧して記した絵画	○	○	○	9
10	スケッチブック	田辺末隆	1970年代 以降	1	絵画	万山開拓団員、田辺末隆氏が50歳を過ぎて、開拓団での引き揚げの苦難を回顧して記した絵画	○	○	○	10
11	イラスト集	田辺末隆	1970年代 以降	1	イラスト	万山開拓団員、田辺末隆氏が50歳を過ぎて、開拓団での引き揚げの苦難を回顧して記したイラスト。イラストは27枚+表紙1枚(画は49カット)	○	○	○	11
12	「報告書 38年目の万山慰霊訪問」	十和村阿城・葦河訪問団	昭和58年 12月20日	1	書籍	戦後の訪中慰霊の報告書	○	△	○	S8

(1) 解題

旧満州吉林省樺甸県樺樹林の大清溝（だいせいこう）に入植した旧幡多郡江川崎村（現在の四万十市西土佐地域）の満州開拓団「江川崎開拓団」に関わる資料群 20 点。昭和 17 年 3 月に先遣隊を派遣して昭和 18 年に多くが渡満。村の約 3 割に当たる 118 世帯 433 人が分村して入植したが、敗戦後の混乱と難民収容所（吉林省撫順市）での生活などで団員の 7 割にあたる 270 人が帰国することなく亡くなっている。県内で最も死亡率の高かった開拓団。資料群には昭和 18 年の「満州分村視察報告書」（KK5-13）や戦後の引揚げまでの状況を記した報告書「避難略記（写）」（KK5-10）、「団体別在籍者名簿 大清溝江川崎開拓団」（KK5-8）など開拓団の来歴の分かる資料や、戦後引揚げで結成された「更生会規約」（KK5-9）や「外地における状況、引揚げの状況等に関する申立書」（KK5-6）など戦後の引揚げ者の補償・生活再建に関する活動資料が含まれる。地域を上げて開拓団の犠牲者の慰霊や歴史の継承を継続してきた開拓団であり、その活動は四万十市西土佐江川の「せせらぎ交流館満州分村資料室」や子・孫世代の「西土佐の満州分村を語り継ぐ会」に引き継がれている。2016 年 8 月に資料ネットが満洲分村資料室の所蔵資料を撮影記録した。

(2) 主要資料

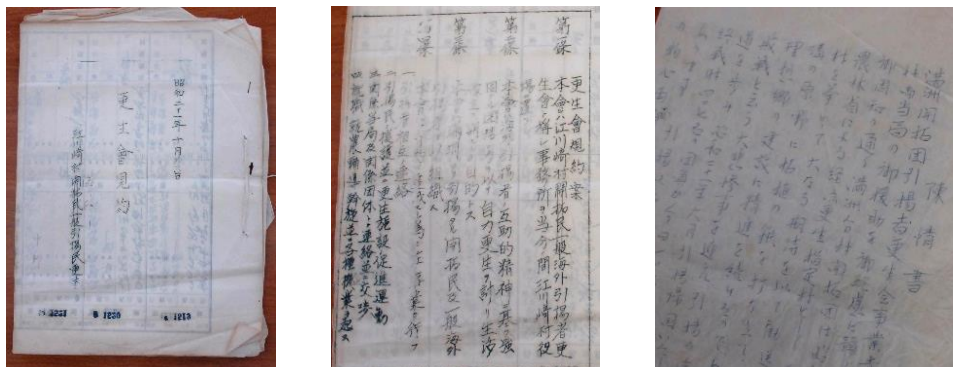
●「満州分村視察報告書」（KK5-13）

昭和 18 年 9 月に江川崎村の視察団が渡満して、入植地での作付けや集落の状況などを記した報告書。集落の状況や田畑、作物の作付け状況などを記し、開拓が順調に進んでいる様子が分かる。



●「更生会規約」（KK5-9）

江川崎開拓団の引揚げ者たちが再生を期して昭和 21 年 10 月に結成した更生会の規約。満州での苦難と引揚げ後の帰国者の窮状を記し借入金について記した村長宛ての陳情書が附属している（昭和 30 年 3 月）。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル	簡易版
KK5	江川崎開拓団資料	
内容	高知県旧幡多郡江川崎村(現四万十市)から分村で満州に開拓入植した江川崎開拓団に関わる資料群。満州分村計画書や入植者名簿、戦後の引揚者が作った更生会の規約など。	
分類	満州開拓団	
点数	20点	
年代域	昭和18年～平成6年	
資料保管先	せせらぎ交流館(四万十市)	
概要	○	詳細 ○ データ ○ 高知戦争資料保存ネットワーク
	調査者	楠瀬慶太 作成年月日2016年8月20日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル	高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
KK5	江川崎開拓団資料	調査者 楠瀬慶太	作成年月日 2016年8月20日
年代域	昭和18年～平成6年	資料群の作成年月日	2007年
作成者名称	武田邦徳・中野久男	サイズ	
資料保管先	せせらぎ交流館満州分村資料室		
記録資料伝来	江川崎開拓団の一員として満州へ渡り、帰国した中野久男、武田邦徳氏がまとめた開拓団資料の一部。武田氏が中心になり、せせらぎ交流館に寄贈し		
作成者経歴	武田邦徳(たけだ・くにのり)昭和4年4月10日生。四万十市西土佐西ケ方出身。父母ら家族9人で江川崎開拓団に参加し、満州へ。ソ連参戦後、開拓団を脱出し逃避中に母と弟2人が犠牲になり、父も撫順の難民収容所生活で死去。妹と2人で昭和21年6月帰国した。自衛隊員を経て退職後に西土佐へ戻り、同じ団員で西土佐村役場職員だった中野久男氏と記録誌『さいはてのいばら道』を執筆。満州開拓の体験や歴史を後世に伝えようと、せせらぎ交流館満州分村資料室の整備や語り部活動に力を尽くした。		
内容・点数	20点(満州分村計画書、団員名簿、更生会規約など)		
資料の保管状態	良好		
法的位置づけ	せせらぎ交流館が保管		
次代の保管者・保管先			
利用条件	公開可		
データ	○		
出版情報	西土佐村満州分村史編纂委員会編1986『さいはてのいばら道 西土佐村満洲開拓団の記録』中脇初枝2018『世界の果てのこどもたち』講談社		
関連文献	高知新聞連載「分村 絶望の地で 江川崎満州開拓団の記憶」(2011年8月15～22日)、楠瀬慶太2016「地域で戦争を語り継ぐ」『よど』17号		

(5) 詳細版目録

資料群名 江川崎開拓団資料					資料 番号	KK5			
詳細 番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述 レベル	内容	公開 可否	写真	現物
1	撫順市日本人身分証明書	撫順市日 僑善連絡 処主任 坪田祐一		1	証書	江川崎開拓団員の武田邦徳の撫順 市での身分証明書。引揚げ前開拓団 は撫順市の難民収容所にいた。引揚 げ前に発行された文書か。	○	○	○
2	罹災(外地引揚)証明書	同胞援護 会高知支 部	昭和22年 5月9日	1	証書	高知市中島市の武田邦徳の罹災(外 地引揚)証明書。高知県建築工補導 所での修業中に際し発行されたもの。	○	○	○
3	引揚者身分申告書	武田邦徳		1	申告 書	楠瀬邦徳(武田から養子に入り一時 改名)が引揚げ者としての身分を申告 した書類。在外資産補償獲得期成同 盟(高知県本部長・入交好保)の会費 の領収書が付いている。	○	○	○
4	在外財産返還補償請求書 1通 運動資金領収書 (控)	海外引揚 者高知県 更生連 盟、在外 資産補償	昭和37年5月	1	領収 書	在外財産返還補償に関する運動資 金の領収書。海外引揚者高知県更生 連盟、在外資産補償獲得期成同盟の 旭支部長・大村寛の受領印がある。	○	○	○
5	手紙	大村寛	昭和37年?	1	手紙	原稿用紙1枚。大村氏から武田邦徳 へ宛てられた手紙。KK5-4の附属の 手紙か。	○	○	○
6	外地における状況、引揚 の状況等に関する申立書	武田邦徳	昭和35年10月	1	申告 書	楠瀬(武田)邦徳が満州での履歴を記 した申告書。那覇日本政府南方連絡 事務所長・氏原一郎宛てに引揚者給 付金を請求した書類。	○	○	○
7	日僑(俘)簡■冊	江川崎開 拓団	昭和21年	1	簿冊	昭和21年帰国命令を受けて撫順市の 難民収容所で作成された江川崎開拓 団員の名簿	○	○	○
8	団体別在籍者名簿 大清 溝江川崎開拓団	江川崎村 役場	昭和21年6月	1	簿冊	昭和21年6月の帰国時に作成された 江川崎開拓団員の生死別名簿。	○	○	○
9	更生会規約	江川崎村 開拓民一 般引揚民 更生	昭和21年10月、昭 和30年3月	1	簿冊	外地からの帰国者が再生を期して昭 和21年10月に結成した更生会の規 約。満州での引揚げの苦難と引揚後 の帰国者の窮状を記し借入金につい て記した村長宛ての陳情書が附属し ている(昭和30年3月)。	○	○	○
10	避難略記(写)	江川崎開 拓団	(昭和21年6月?)	1	原稿 用紙綴	帰国後に終戦から帰国までの引揚げ の状況を記し、江川崎村を通じて高知 県に提出した報告書の写し。	○	○	○
11	団員名簿	江川崎開 拓団		1	簿冊	江川崎開拓団の団員名簿。死亡年月 日等が記した戦後に作成された名 簿。	○	○	○
12	団員名簿	大清溝江 川崎開拓		1	簿冊	戦前作成された名簿に、戦後死亡な どの状況を追記したもの。	○	○	○
13	満州分村視察報告書	江川崎開 拓団	昭和18年 9月6日	1	簿冊	満州分村で江川崎村が入植した吉林 省大清溝の視察報告書。撮影写真が 複数枚不鮮明で再撮影が必要。	○	○	○
14	団員名簿			1	簿冊	帰国後の合同村祭に際して作られた 江川崎開拓団の団員名簿	○	○	○
15	祭文	中野久男	昭和32年8月2日	1	横紙	昭和32年の開拓団慰霊祭の祭文	○	○	○
16	弔辞	稲田稔	昭和29年8月23日	1	横紙	昭和29年の開拓団慰霊祭の弔辞	○	○	○
17	弔辞	谷脇俊介	昭和29年8月23日	1	横紙	昭和29年の開拓団慰霊祭の弔辞	○	○	○
18	祭文	中野久男	昭和29年8月23日	1	横紙	昭和29年の開拓団慰霊祭の祭文	○	○	○
19	祭文	中野久男	平成6年8月22日	1	横紙	平成22年の開拓団慰霊祭の祭文	○	○	○
20	弔辞	芝和	昭和29年8月23日	1	横紙	昭和29年の開拓団慰霊祭の弔辞	○	○	○

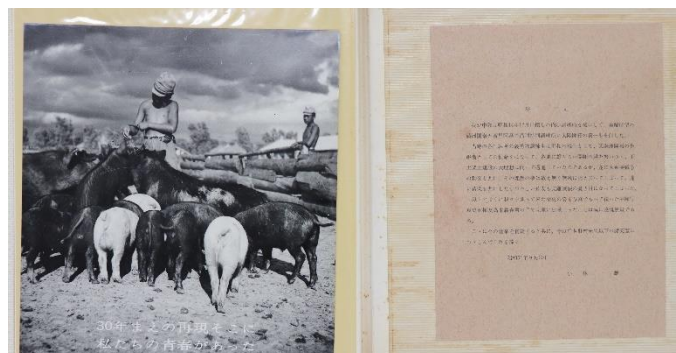
(1) 解題

15歳で昭和14年に満州へ渡り、訓練の後、大和鎮開拓団に入った前田定（まえだ・さだむ）が残した満蒙開拓青少年義勇軍に関わる資料群。その経歴は、安芸郡穴内村の農家の三男に生まれ、高等小学校卒業後15歳で満蒙開拓青少年義勇軍に志願し、内原訓練所、満州昌図訓練所、ウスリ訓練所を経て大和鎮開拓団へ入るといった典型的な義勇軍の参加ケースである。資料群は、その過程を知る当時の古写真や戦後に義勇軍のOB会「拓友会」が作ったアルバム、拓友会の活動写真など101点。写真資料で義勇軍の実態や若者の生活を知ることができる重要資料である。前田氏は生前義勇軍についてほとんど語ることはなかったが、死後遺族が資料を発見した。1945年2月ニューギニアで戦病死した前田氏の兄・武義氏の資料を含む。2019年6・7月に資料ネットが撮影記録・保存処理を行って保管者に返却した。調査レポートあり。

(2) 主要資料

●「〈第2次〉満蒙開拓青少年義勇軍大和鎮青年義勇隊開拓団 第三中隊〈中隊写真史〉」(SN29-28)

約370枚の青少年義勇軍、大和鎮開拓団の写真をもとめて昭和51年に作られた自作アルバム。大和鎮開拓団の野村民良中隊長が撮影した写真を中心にOB会「拓友会」会員から写真を集め、写真が趣味だった高村氏が編集した。はがき、寄せ書きなども収録されている。当時拓友会に所属していた46人分のみ製作され配布されたとみられる。写真資料で義勇軍の実態や若者の生活を知ることができる重要資料である。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル					簡易版
SN29	前田定資料					
内容	満蒙開拓青少年義勇軍・大和鎮開拓団の写真アルバム、戦後のOB会の活動記録写真など					
分類	満蒙開拓青少年義勇軍・大和鎮開拓団					
点数	101点(写真アルバム、写真、はがき)					
年代域	昭和14年～20年、昭和47年～昭和62年ごろ					
資料保管先	高知市					
概要	○	詳細	○	データ	○	高知戦争資料保存ネットワーク
		調査者		資料ネット		

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル	高知戦争資料保存ネットワーク				概要版
SN29	前田定資料	調査者	資料ネット	作成年月日 2019年 7月26 日		
年代域	昭和14年～20年、昭和47年～昭和62年ごろ	資料群の作成年月日		不明		
作成者名称 前田定		サイズ				
資料保管先		高知市				
記録資料伝来		安芸市の前田家に残っていた前田定氏保管の写真資料。アルバム「昭和14年度(第2次)満蒙開拓青少年義勇軍大和鎮青年義勇隊開拓団 第三中隊(中隊写真史)」、拓友会の写真や定氏個人が持っていた写真などが残されている。				
作成者経歴		前田定(まえだ・さだむ)は、大正13年7月21日安芸郡穴内村六丁の農家、前田豊臣(とよとみ)・芳代(よしよ)の三男(戸籍上)として生まれる。穴内尋常小学校、高等小学校を経て15歳で満蒙開拓青少年義勇軍に志願。昭和14年8月に内原訓練所入隊、12月に満州昌図(しょうと)訓練所入所し1年ほど訓練。昭和15年にウスリ訓練所で約2年間過ごし、昭和17年(18年?)ごろに大和鎮開拓団に入る。昭和20年2月または3月に召集となり、4月に善通寺で陸軍入隊、四国防衛軍として高知県に配属され、南国市稲生で終戦を迎えた。兄で長男の武義(たけよし)がニューギニアで戦死したため、戦後は前田家を継ぎ、農業(ハウス・ナスの栽培)に従事した。平成28年10月5日死去。				
内容・点数		101点(写真アルバム、写真、はがき)				
資料の保管状態		良好				
法的位置づけ		遺族が所蔵				
次代の保管者・保管先						
利用条件		公開可				
データ ○						
出版情報		自費出版(国立国会図書館にデータなし)				
関連文献		2019年5月11日『神戸新聞』記事 満蒙開拓団の日常捉えた写真370枚発見、公開へ				

織田千代子 2020『鉄の戦士 父・前田定の闘いー満蒙開拓青少年義勇軍に消えた青春』高知新聞総合印刷

(5) 詳細版目録

資料群名 前田定資料					資料 番号	SN29				
詳細 番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述レ ベル	内容	公開 可否	写 真	現 物	写真 番号
1	写真		昭和16～ 17年	3	写真	裏面にそれぞれ「17. 2. 26」の印・「19 2月」、「康德七年十二月 17才」、「十月五日訓練所にてパチリ 十八才 前田定」と注記有り。鉛筆書き注記は戦後か。	○	○	○	1
2	写真		昭和14年	2	写真	裏面に「昭和十四年八月出発直前15才」と注記有り。鉛筆書き注記は戦後か。	○	○	○	2
3	写真			1	写真		○	○	○	3
4	写真			1	写真	内原訓練所か？	○	○	○	4
5	写真			2	写真	満州か？	○	○	○	5
6	写真			2	写真	満州か？	○	○	○	6
7	写真			1	写真	裏面に「19. 8. 10」の印	○	○	○	7
8	写真			1	写真	善通寺入隊。裏面に「昭和二十年四月一日入隊 前田定 21才」の注記あり。	○	○	○	8
9	写真			1	写真	善通寺入隊	○	○	○	9
10	写真			1	写真	穴内尋常小学校。定氏は写っていない	○	○	○	10
11	写真			1	写真	穴内尋常小学校。	○	○	○	11
12	写真			1	写真	穴内尋常小学校。左から2人目が定氏	○	○	○	12
13	写真			8	写真	写真左下の一枚は日輪兵舎。	○	○	○	13
14	写真			4	写真	出兵、伊勢神宮参拝か	○	○	○	14
15	写真			2	写真	昌図訓練所	○	○	○	15
16	写真			2	写真	昌図訓練所	○	○	○	16
17	写真			2	写真	松下稔、小橋豊道	○	○	○	17
18	写真			2	写真	昌図訓練所、※ミスで付箋が「SN29-19」になっている。	○	○	○	18
19	写真			2	写真		○	○	○	19
20	写真	松下稔		1	はがき	前田定宛松下稔手紙【コピー】、昭和17年7月11日	○	○	○	20
21	写真			2	写真		○	○	○	21
22	写真			2	写真	裏面に「比嘉氏提供」と注記	○	○	○	22
23	写真			2	写真	44連隊朝倉か？	○	○	○	23
24	写真			3	写真	裏面に「横浜修練所21才」、「昭和十六年一月六～」と注記有り。	○	○	○	24
25	写真			1	写真	裏面に「昭和十六年五月八日」と注記	○	○	○	25
26	「昭和14年度(第2次)満蒙開拓青少年義勇軍大和鎮青年義勇隊開拓団 第三中隊(中隊写真史)」	小林一雄	昭和51年 9月20日	1	アルバ ム	約370枚の義勇軍、開拓団での写真をまとめたアルバム。大和鎮開拓団の野村民良中隊長が撮影した写真を中心にOB会「拓友会」会員から写真を集め、写真が趣味だった高木さんが編集してアルバム。はがき、寄せ書きなども収録。	○	○	○	26
27	写真			25	写真	拓友会の活動記録写真	○	○	○	27
28	写真			12	写真	前田武義の戦前写真	○	○	○	30
29	軍歴証明書			3	文書	前田武義の軍歴証明書	○	○	○	31
30	写真			10	写真	前田武義の戦前写真	○	○	○	32

(1) 解題

満州で太平洋戦争末期に亡くなった安芸郡奈半利町出身の元警察官・山中茂久壹（やまなか・もくいち）の資料群。警察官としての来歴を示す証書類や、満州の関東局警察安東署・ハルビン濱江省勤務時の資料・写真アルバムなど 128 点が残る。関東局警察の沿革史や活動の写真をまとめた冊子『関東局警察 遺芳』は、満州建国前に置かれていた関東局警察の活動実態を知ることのできる一級資料。戦前の満州ハルビンの風景・風俗が分かる写真が治められたアルバムも貴重である。他にも満洲結核予防協会、ハルビン市商工金融合作社、哈爾濱交通株式会社などの事業に関する資料もある。2017 年に資料ネットメンバーである遺族が撮影記録・保存処理を行い保管している。調査レポートあり。

(2) 主要資料

●『関東局警察 遺芳』(ST2-9)

満州建国前に置かれていた関東局警察の沿革史や活動の写真を昭和 12 年に南満洲警察協会がまとめた冊子で、在官警察官に配布されたものと見られる。現在国内の図書館等には所蔵がなく、関東局警察の実態を知る基本資料となるものである。四六倍版。約 1300 頁。満州内では明治 37 年から警察行政が始まり、大正 10 年には内務省警務局が設けられ、警察署が各地に設置された。昭和 12 年の満州国建国に伴って関東警察局は改組され、約 3500 人の警察官は満州国に移管された。『遺芳』はこの過程を総括編、州外編、州内編に分けて写真で振り返る。各警察署の勤務者や活動、地域の様子などがまとめられている。山中茂久壹が撮影したアルバム (ST2—4-1・2、5、6) の中にも、この関東局警察での活動と関連した写真が複数見られる。

【参考文献】小幡尚 2019 「高知の戦争資料」『資料学の方法を探る』18、愛媛大学「資料学」研究会



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル				簡易版
ST2	山中茂久壹資料				
内容	満洲で太平洋戦争末期に亡くなった元警察官・山中茂久壹の資料群。警察官としての来歴を示す証書類や、関東局警察・ハルピン濱江省勤務時の資料・写真アルバムなどが残る。アルバム類は、当時の満洲ハルピンの風景・風俗が分かる写真類が貴重。『関東局警察遺芳』は関東局警察の沿革史や活動の写真をまとめた冊子で、在官警察官に配布されたものと見られるが、国内の図書館等には所蔵がなく、関東局警察の実態を知る一級資料である。他にも満洲結核予防協会、ハルピン市商工金融合作社、哈爾濱交通株式会社などの事業に関する資料もある。				
分類	関東局警察、ハルピン				
点数	128点(証書類、アルバム、『関東局警察遺芳』等)				
年代域	昭和4年～昭和59				
資料保管先	芸西村				
概要	○	詳細	○	データ	○ 高知戦争資料保存ネットワーク
		調査者	資料ネット・恒石節子		

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル				高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
ST2	山中茂久壹資料			調査者	恒石節子	作成年月日 2020年12月4日
年代域	昭和4～59年			資料群の作成年月日	不明	
作成者名称	山中茂久壹			サイズ		
資料保管先	芸西村					
記録資料伝来	山中茂久壹の遺品を親族が保管していた。					
作成者経歴	山中茂久壹(やまなか・もくいち) 明治37年3月19日生。安芸郡奈半利町加領郷出身。山中寅太郎の3男として誕生。男子5人、女子3人のうち5番目だった。家は山の上で百姓をし、後に加領郷の海岸沿いに降りて小さな旅籠を営む。大阪の警察学校卒業後、神戸警察署勤務、昭和4年中国大陸に渡り、安東署勤務。安東署勤務時、結核で妻と次女(3歳)を次々亡くし、昭和19年頃には本人も結核を患う。昭和14年、長女と供に叔母山中鐵と養子縁組、15年筒井玉恵と結婚。満洲国建国後、ハルピン濱江署勤務。昭和19年春に家族(後妻の玉恵・三女・次男)3人を高知に帰国させ、20年7月のハガキ以降は行方不明。昭和28年12月戦時死亡となる。資料では「茂久ー」の表記もある。					
内容・点数	128点(証書類、アルバム、『関東局警察遺芳』等)					
資料の保管状態	良好					
法的位置づけ	親族が所蔵					
次代の保管者・保管先	寄贈・寄託を計画					
利用条件	公開可					
データ	○					
出版情報	小幡尚2019「高知の戦争資料」『資料学の方法を探る』18、愛媛大学「資料学」研究会					
関連文献	斎藤良二編1981『関東局警察四十年の歩みとその終焉』					

(5) 詳細版目録

資料群名 山中茂久遺資料										資料番号 ST2			
詳細番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述し べル	内容	公開 可否	写真	現物	種類	写真 番号		
1-1	陸軍下士適任証書	歩兵第四十四連隊	大正15年11月30日	1証書	1証書	陸軍歩兵上等兵・山中茂久臺の44連隊の下士適任証書	○	○	○	紙	1-1		
1-2	善行証書	歩兵第四十四連隊	大正15年11月30日	1証書	1証書	陸軍歩兵上等兵・山中茂久臺の44連隊の善行証書	○	○	○	紙	1-2		
1-3	辞令(兵庫県巡査)		昭和2年9月1日	1証書	1証書	巡査の山中茂久臺の辞令。「兵庫県巡査ヲ命ズ月俸金貳拾八円給与」	○	○	○	紙	1-3		
1-4	卒業証書	兵庫県巡査教習所	昭和2年12月15日	1証書	1証書	巡査山中茂久臺の兵庫県巡査教習所の卒業証書	○	○	○	紙	1-4		
1-5	辞令(関東庁出向)	兵庫県	昭和4年8月10日	1証書	1証書	兵庫県巡査・山中茂久臺の関東庁出向の辞令	○	○	○	紙	1-5		
1-6	辞令(外務省巡査)	外務省	昭和4年9月2日	1証書	1証書	関東庁巡査・山中茂久臺を外務省巡査に任じた辞令	○	○	○	紙	1-6		
1-7	辞令(関東庁巡査)	関東庁	昭和4年9月2日	1証書	1証書	兵庫県巡査・山中茂久臺を関東庁巡査に任じた辞令。「月俸三拾七圓」	○	○	○	紙	1-7		
1-8	会員証	帝国軍人後援会	昭和5年12月26日	1証書	1証書	山中茂久臺の帝国軍人後援会の賛助会員証	○	○	○	紙	1-8		
1-9	〔善行証書?〕	関東長官	昭和7年2月1日	1証書	1証書	前文が欠損	○	○	○	紙	1-9		
1-10	合格証書	考試委員 関東庁警務局長・事務官・警視	昭和7年8月8日	1証書	1証書	関東庁巡査・山中茂久臺の警部補特別任用学術試験の合格証	○	○	○	紙	1-10		
1-11	辞令(巡査部長)	関東庁	昭和7年8月8日	1証書	1証書	関東庁巡査・山中茂久臺を巡査部長に任じた辞令。関東庁の便せんに印刷。辞令(巡査部長)外務省 8月8日(辞令文同じ)	○	○	○	紙	1-11		
1-12	辞令(国勢調査委員)	関東庁	昭和5年7月20日	1証書	1証書	巡査・山中茂久臺を国勢調査委員に任じた辞令。関東庁の便せんに印刷	○	○	○	紙	1-12		
1-12-2	辞令(兼任外部省警部補)		昭和8年5月25日	1証書	1証書	関東庁警部補・山中茂久臺を兼任外部省警部補に任じた辞令	○	○	○	紙	1-12-2		
1-12-3	辞令(関東庁警部補)		昭和8年5月25日	1証書	1証書	山中茂久臺を関東庁警部補に任じた辞令	○	○	○	紙	1-12-3		
1-13	証書(勲八等白色桐葉章)	賞勲局	昭和9年4月29日	1証書	1証書	関東庁警部補・山中茂久臺に勲八等白色桐葉章と金270円を与えた証書	○	○	○	紙	1-13		
1-14	社員証	日本赤十字社	昭和9年7月30日	1証書	1証書	山中茂久臺を日本赤十字社の正社員とする証書	○	○	○	紙	1-14		
1-15	任命証	日本赤十字社満洲委員総長	昭和10年10月1日	1証書	1証書	山中茂久臺を日本赤十字社安東支那地方委員に囑託した証書	○	○	○	紙	1-15		
1-16	証書(昭和六年及至九年事変)	賞勲局	昭和11年7月10日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺に昭和六年及至九年事変の功で金80円を賜った旨を記した証書	○	○	○	紙	1-16		
1-17	証書(昭和六年及至九年事変)	内閣	昭和12年7月7日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺に昭和六年及至九年事変の功で金35円を賜った旨を記した証書	○	○	○	紙	1-17		
1-18	辞令(関東局警部)		昭和12年11月17日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺を警部に任じた辞令。「給月報六拾八円」	○	○	○	紙	1-18		
1-19	退職特別賜金支給書	関東局	昭和12年12月2日	1証書	1証書	関東局警部・山中茂久臺の退職特別賜金支給書。	○	○	○	紙	1-19		
1-20-1	語学及格証書(満洲語)	高等文官考試委員長	康德6年4月15日	1証書	1証書	山中茂久臺の満洲語の語学及格証書	○	○	○	紙	1-20-1		
1-20-2	手紙(断簡)			1証書	1証書	住所が変わって手紙は所在不明云々。満洲帝国政府の便せんに書かれている	○	○	○	紙	1-20-2		
1-21	大日本帝国外国記章佩用免許証	賞勲局	昭和9年3月1日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺に満洲国皇帝より贈賜された記章の佩用許可書	○	○	○	紙	1-21		
1-22	証書(勲八等白色桐葉章)		昭和9年4月29日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺の勲八等白色桐葉章の証明証書	○	○	○	紙	1-22		
1-23-1	証書(昭和六年及至九年事変従軍記章)	賞勲局	昭和9年4月29日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺の昭和六年及至九年事変従軍記章の授与証明証書	○	○	○	紙	1-23-1		
1-23-2	大日本帝国外国記章佩用免許証	賞勲局	昭和10年9月21日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺に満洲国皇帝より贈賜された記章の佩用許可書。文面は1-21と同一、再交付されたものか。	○	○	○	紙	1-23-2		
1-24-1	皇帝訪日記念章証書	国務総理大臣・恩賞局長	康德2年9月21日	1証書	1証書	関東局警部補・山中茂久臺に皇帝訪日記念章証書を贈与した際の証書	○	○	○	紙	1-24-1		
1-24-2	任命状		康德4年12月1日	1証書	1証書	山中茂久臺を「県警佐紋任三等」に任命した証書	○	○	○	紙	1-24-2		
1-25	指紋令		康德4年12月1日	1証書	1証書	「県警佐・山中茂久臺」「給月俸八十五圓 派在安東県辦事」	○	○	○	紙	1-25		
1-26	修業証書	中央警察学校校長	康德5年1月22日	1証書	1証書	中央警察学校の修業証書	○	○	○	紙	1-26		
1-27	辞令	満洲勞工協会	康德6年5月4日	1証書	1証書	山中茂久臺を満洲勞工協会の事務員に任じた証書	○	○	○	紙	1-27		
1-28-1	感謝状	奈半町町長	昭和15年4月11日	1証書	1証書	山中茂久臺が私財を投じて建設した加領郷小学校に二宮尊徳像に関する感謝状。除幕式が行われた。一部欠損	○	○	○	紙	1-28-1		
1-28-2	記章類			24	記章	山中茂久臺がもたらった記章類(箱も含めた点数)	○	○	○	モ/	1-28-2		
1-29	陶器壺(移譲記念)	関東局安東警察署	昭和12年12月1日	1壺	1壺	関東局安東警察署の作らせた移譲記念の壺。表面には神社と笹を描いた金絵がある	○	○	○	モ/	1-29		

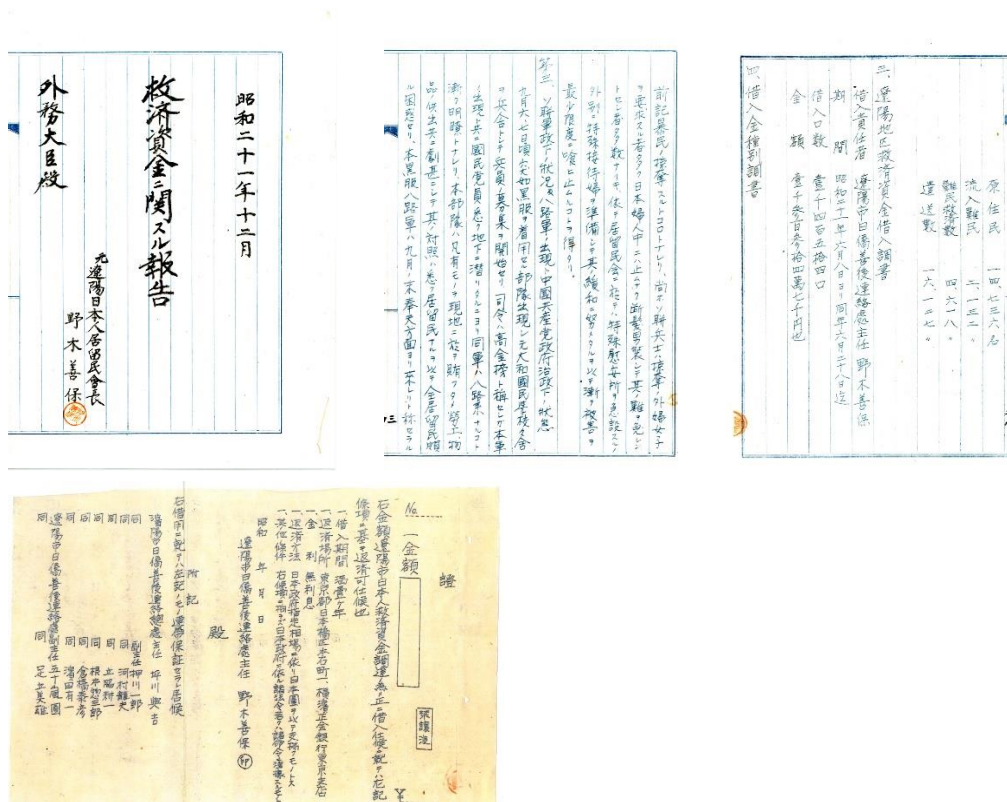
(1) 解題

終戦後の満州で結成された遼陽日本人居留民会の野木善保会長（帰国後に京都府網野町長）が作成した報告書「救済資金二関スル報告」(SH2-2)を含む資料群。満州国の都市・遼東から日本への引揚げの回顧録 (SH2-1) や日記 (SH2-3) や関連文献 (SH2-4) など計5点で、遼東の終戦から引揚げまでの居留民の実態がうかがえる。元遼陽日本人居留民会で野木善保会長と一緒に仕事をしていた子安建雄の妻・喜佐子さんから奈良市の岡田信彦さん（長兄藤太郎さんが居留民会で通訳）が資料を預かっていた。資料ネットの崎山ひろみ氏が資料の複製を借り受け、資料ネットで2017年4月に撮影記録した。

(2) 主要資料

●「救済資金二関スル報告」(SH2-2)

元遼陽日本人居留民会会長の野木善保が、日本への引揚げ後に外務省に提出した報告書の控え。終戦から引揚げ完了までの遼東の様子がつぶさに記録され、居留する日本人救済に資金集めをした状況が記されている。一部紹介すると、1945年8月21日にはソ連軍が遼陽に入城し、23日に日本軍は武装解除した。治安は悪化し、暴民や略奪が横行し、遼陽満鉄病院も放火で消失する。ソ連兵士が婦女子を求めるなど要求がエスカレートし、断髪男装して難を逃れようとしたものも多かった。一方で居留民会は「特殊慰安所を急設し、別に特殊接待婦を準備して被害を最小限に食い止めた」と記している。居留民会の救済資金は、日本人や日本人商社から無利子で借り受ける形式を取っていた。現文書の他、活字化した文書もあり、データ化している。



(3) 簡易版目録

資料番号	SH2	タイトル	野木善保資料	簡易版
内容	元遼陽日本人居留民会の会計報告(「救済資金二関スル報告」)、遼陽から日本への引き揚げ記録、遼陽での生活回顧録など、満州国遼陽に関する資料群。			
分類	遼陽日本人居留民会			
点数	5点(元遼陽日本人居留民会の会計報告(「救済資金二関スル報告」)、子安建雄さんの妻・喜佐子さんの遼陽から日本までの引き揚げ日記、喜佐子さんの塾生・岡田信彦さんの遼陽での生活回顧録など)			
年代域	昭和21年12月、昭和20年8月9日ー昭和21年7月22日、2008年2月14日			
資料保管先	奈良県奈良市			
概要	○	詳細	データ ○	高知戦争資料保存ネットワーク
	調査者 資料ネット			

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル				高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
SH2	野木善保資料		調査者	楠瀬慶太・崎山ひろみ	作成年月日2017年4月11日	
年代域	昭和21年12月、昭和20年8月9日－昭和21年7月22日、2008年2月14日		資料群の作成年月日			
作成者名称 野木善保(?)、子安喜佐子(1917－2005)			サイズ			
資料保管先			奈良市			
記録資料伝来			元遼陽日本人居留民会で野木善保会長と一緒に仕事をしていた子安建雄の妻・喜佐子さんから「救済資金に関する報告」「日記：敗戦から引き揚げまでの記録」を、喜佐子さんの塾生だった岡田信彦さん(長兄藤太郎さんが居留民会で働いて通訳をしていた、中国語が堪能)が預かった。			
作成者経歴						
○野木善保さん(元遼陽日本人居留民会・会長、帰国後に京都府網野町・町長、ほかは不明)「救済報告－」は引き揚げ後に外務省に提出した会計記録 ○子安建雄(東京大学経済学部卒、満州国官吏で新京に、終戦後は遼陽に避難、戦後居留民会で働く、「救済報告－」のゴーストライターか?)○子安喜佐子(1917－2005、東京理化学研究所に勤めていた化学の専門家、結婚で満州へ、夫は子安達雄、終戦時は新京梅ヶ江町に在住で戦後遼陽へ、塾の先生をしていた、1946年7月に引き揚げ)－日記は終戦前から引き揚げ後の昭和20年8月9日－昭和21年7月22日までの自筆記録 ○岡田信彦さん(昭和5年7月6日生、幼少期に満州・鞍山市の鞍山(あんざん)中から彦根中へ転校(引き揚げ)、彦根中学校－同志社中高－京都大学工学部工業化学科卒、大阪ガス勤務。鞍山中時代に学徒動員で北安省鉄驢(てつれい)の宮城県韓家開拓団へ、終戦後に遼陽へ帰る。昭和21年7月に信彦は博多へその後へ神戸へ引き揚げ)						
内容・点数			5点(元遼陽日本人居留民会の会計報告(「救済資金二関スル報告」)、子安建雄さんの妻・喜佐子さんの遼陽から日本までの引き揚げ日記、喜佐子さんの塾生・岡田信彦さんの遼陽での生活回顧録など)			
資料の保管状態			「救済報告－」は良好、ほか日記、回顧録はコピー			
法的位置づけ			奈良市で保管			
次代の保管者・保管先			不明			
利用条件			○			
データ			○			
出版情報			「救済報告－」は読みやすいように活字化している			
関連文献			『満蒙終戦史』(1962年発行)422－437までに関連記述あり			

(5) 詳細目録

資料群名 野木善保資料			資料番号 SH2							
詳細番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量・規模	記述レベル	内容	公開可否	写真	現物	種類
1	〔避難民救済資金、引揚げ資金等の空証文〕	岡田信彦	戦後	1	回顧録	子安喜佐子さんの塾生・岡田信彦さんの遼陽での生活回顧録「苦難の中で」。避難民救済資金、引揚げ資金等の空証文に関する記述あり。	○	○	△	紙
2	昭和二十一年十二月 救済資金二関スル報告	野木善保	昭和21年11月	1	証書	元遼陽日本人居留民会会長の野木善保が、日本への引き揚げ後に外務省に提出した報告書の控え。終戦から引揚げ完了までの遼東の状況がつぶさに記録され、居留する日本人救済に資金集めをした状況が記されている。現文書の他、活字化した文書もあり、データ化している。	○	○	△	紙
3	日記:敗戦から引揚げまでの記録	子安喜佐子	2016年 11月	1	日記	子安建雄さんの妻・喜佐子さんの遼陽から日本までの引き揚げ日記。23頁。2016年に作成し、教え子の岡田信彦さんが編集した。	○	○	△	紙
4	『満蒙終戦史』		1962年	1	コピー資料	難民救済借入金について記した『満蒙終戦史』の該当箇所のコピー	○	○	△	紙
5	野木善保履歴	崎山ひろみ	2017年	1	履歴	資料を調査した崎山ひろみ氏が聞き取りを元に作成した野木善保氏らの履歴	△	○	×	紙
			調査者	資料ネット	作成年月日 2020年12月4日		高知戦争資料保存ネットワーク			

(1) 解題

長岡郡大豊町西豊永出身の河野春生（はるお）が残した満州国の鉱山や工業学校に関する資料群計 19 点。河野は海南中学校卒業後、満州国奉天工業大学で満州国特殊鉄鉱株式会社の大廟鉱山（採鉱所）で 2 年間実習。昭和 17 年教育召集令状が届き、朝鮮大邱の部隊に入隊、ニューギニアへ転戦し、昭和 19 年 1 月に戦死している。「満洲特殊鉄鉱株式会社 大廟鉄山実習報告書」(SH1-7) が満州国の鉱山の採掘状況や見取図、労働者管理などの状況を記した重要資料、奉天工業大学の授業ノート「宇野教授 採鉱学」(SH1-6) は満州における工業人材育成の実態を知ることのできる資料である。河野の親族が保管していた資料を資料ネットが撮影記録、保存処理し、重要資料は高知県立歴史民俗資料館に寄贈している。

(2) 主要資料

●河野春生写真 (SH1-2)

河野春生の海南中学校、奉天工業大学時代の写真が残る。工業系へ進んだ戦前の学生の成長を写した写真資料として面白い。

【海南中学校時代、昭和 13 年、5 年生】



藤並神社武者行列に参加



【奉天工業学校時代】

↓ 朝鮮大邱入隊記念



昭和 16 年



昭和 17 年 3 月

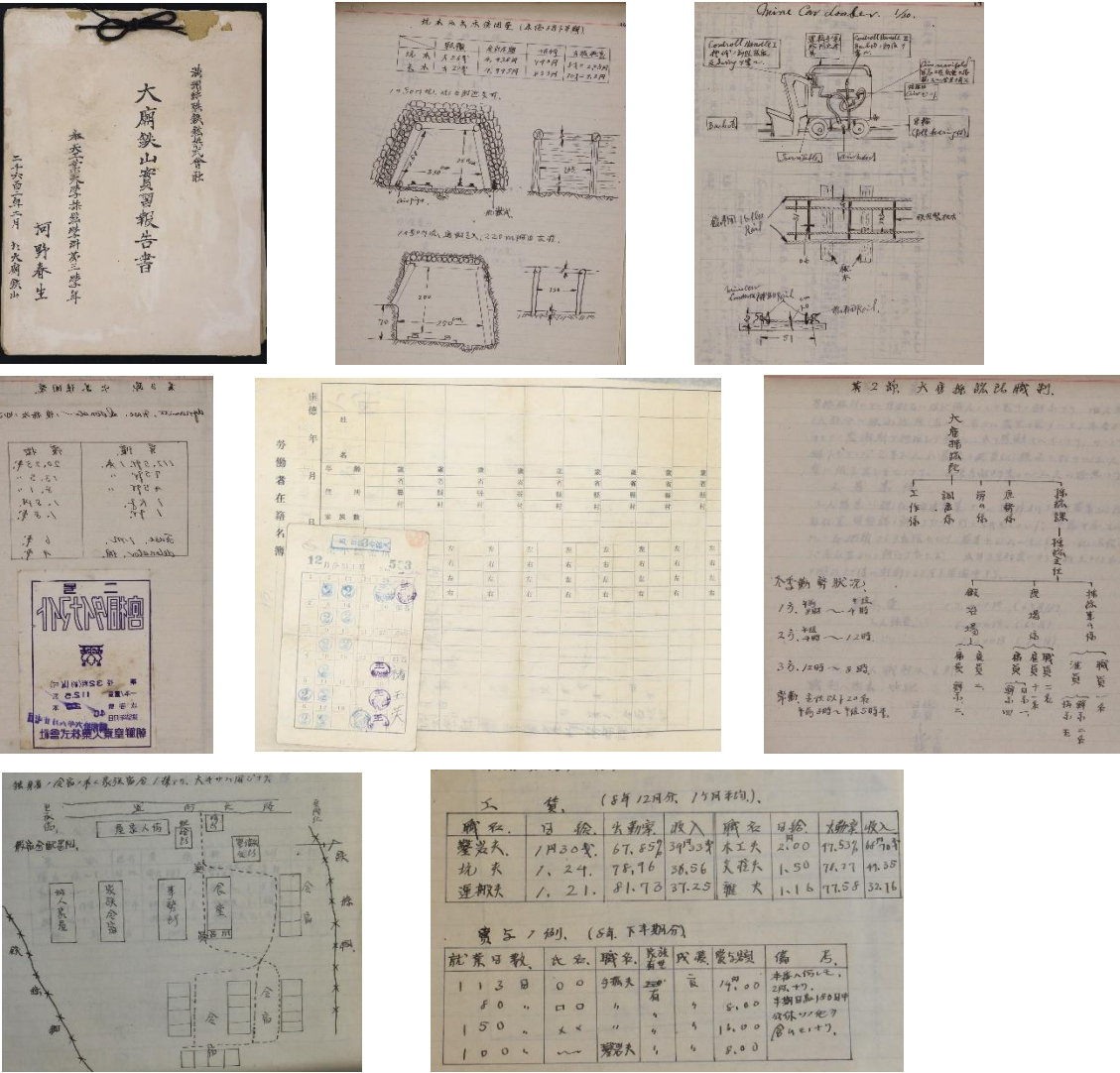


昭和 17 年 4 月

●「満洲特殊鉄鉱株式会社 大廟鉄山実習報告書」(SH1-7)

満州国特殊鉄鉱株式会社の大廟鉱山（採鉱所）で河野春生の 2 年間の実習報告書（昭和 17 年 2 月）。大廟鉱山の地理や沿革、地質・鉱床、坑道の構造、露天掘・鉱内掘・火薬・運搬といった操業実態、工人組織や工人

管理などについて図版を使って詳細に記している。鉱夫の賃金や就業日数、鉄条網で囲われた宿舎等が記される。満州の鉱山の運営実態を記した鉱山史の一級資料である。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル	簡易版
SH1	河野春生資料	
内容	満州国大廟鉄山に関する工業大学生の報告書などを含む資料群。満州における鉱山の操業や工業人材育成の実態を伺うことができる。	
分類	海南中、満州国奉天工業学校、ニューギニア	
点数	19点(満州国奉天工業大学在学時の実習報告書、授業ノート、写真、手紙)	
年代域	昭和10-19年	
資料保管先	高知市、高知県立歴史民俗資料館	
概要	○	詳細 ○ データ ○(一部) 高知戦争資料保存ネットワーク
	調査者	楠瀬慶太・崎山ひろみ 作成年月日2017年4月11日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル						高知戦争資料保存ネットワーク 概要版
SH1	河野春生資料		調査者	楠瀬慶太・崎山ひろみ	作成年月日	2017年4月11日	
年代域	昭和10-19年		資料群の作成年月日				
作成者名称	河野春生		サイズ				
資料保管先	高知県立歴史民俗資料館、高知市						
記録資料伝来	河野春生の親族が自宅で保管していた。						
作成者経歴	河野春生(はるお)は、河野潔(きよし)の長男(姉・高子、妹(勝己かつみ、昭和20年6月29日の岡山大空襲で焼死)、弟(長登(ながのり)・岡山大空襲で大やけど)、昭和36年9月16日も腹下出血で病死)。昭和10年3月1日生、長岡郡大豊町西豊永寺内生まれ、昭和14年3月に海南中学校卒業、同月に満州国奉天工業大学入学(同大学の教師で海南中学校の恩師の紹介)、昭和16年満州国特殊鉄鉱株式会社大廟採鉱所へ2年間実習で滞在(実習の報告書を残した)、昭和17年3月同大学卒業(教育招集令状が来る)、昭和17年4月朝鮮大邱(たいきゅう)の部隊入隊、ニューギニアへ転戦し、昭和19年1月29日戦死(当時は兵長、戦死後に伍長へ昇進)						
内容・点数	19点(満州国奉天工業大学在学時の実習報告書、授業ノート、写真、手紙)						
資料の保管状態	封筒は各所破れて状態悪い、広報は状態が良い(インクの字がはっきりしない)						
法的位置づけ	県立歴史民俗資料館、一部は高知市						
次代の保管者・保管先							
利用条件	○						
データ	○						
出版情報	『河野潔・初子 春生・勝己の思い出』(自費出版)						
関連文献							

(5) 詳細版目録

資料名	河野春生資料				資料番号	SH1				
詳細番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述レベル	内容	公開可否	写真	現物	写真番号
1	手紙	第十二師団残務整理班	3月20日	1	封書	河野潔宛。第十二師団残務整理班が河野春生の戦死の状況を記し、死亡者連名名簿の提出を求める手紙。裏表。	○	○	○	SH1-1
2	写真		昭和10～17年	12	写真	河野春生の写真。海南中時代の写真、工業大時代、部隊入隊前の写真など。	○	○	○	SH2-2
3	手紙	河野春生	康德6年5月15日、昭和17年4月10日	2	ハガキ	森下今宛の河野春生の手紙。(康德6年)満州国奉天から近況を伝えた手紙、(昭和17年)朝鮮大邱の部隊から出され、入隊祝いの御礼と意気込みが活字で記されている。	○	○	○	SH1-3
4	『河野潔・初子 春生・勝己の思い出』	川村高子・中沢梅子	11月 15日	1	冊子	河野潔・初子 春生・勝己の思い出を、川村高子らが記した冊子。自費出版。河野春生の部分のみ撮影。	○	△	○	SH1-4
5	〔河野長登所感〕	河野潔		1	原稿用紙	亡くなった河野長登について父・潔が記した所感。	○	○	○	SH1-5
6	宇野教授 採鉱学	河野春生		1	ノート	満州国奉天工業大学の採鉱学の授業ノート	○	○	○	SH1-6
7	「満洲特殊鉄鉱株式会社大廟鉄山実習報告書」	河野春生	皇紀2602年(昭和17年)2月	1	簿冊	満洲特殊鉄鉱株式会社・大廟鉄山での実習報告書。鉱山の構造や採取状況、作業員の管理状況など詳しく記している。	○	○	○	SH1-7

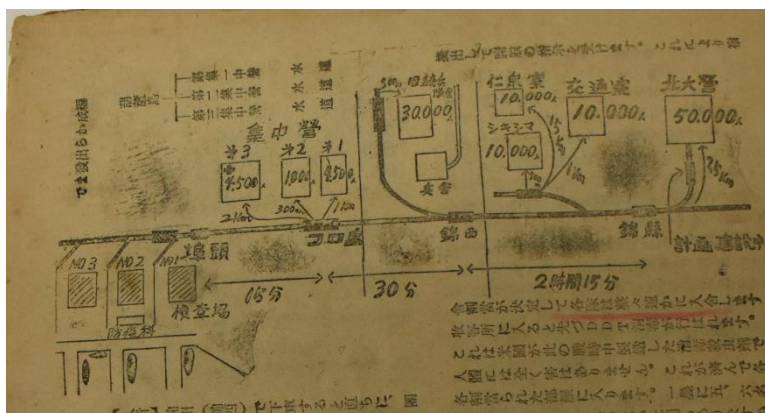
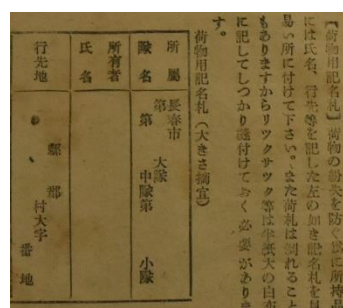
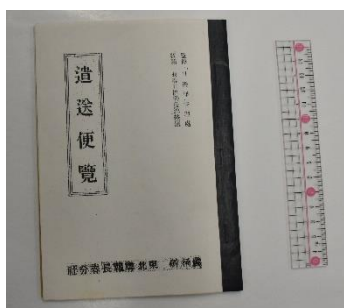
(1) 解題

満州新京からの帰国者・崎山ひろみ氏（高知市）が出身者や関係者から収集した高知県に関する満州の資料群。崎山氏は満州撫順市生まれで終戦当時は新京にいた。引揚は終戦翌年の1946年。戦後は保険会社の社員として勤め、退職後に満州関連の史料収集、引揚者の集まり「満州会」や満州関係の映画の上映実行委などを行い、満州史の調査研究を続けている。資料群は書籍と現資料（紙・モノ）があり、書籍類は高知大学図書館（崎山文庫）、資料類は高知県立歴史民俗資料館に寄贈されている。現資料は2017年10月に同資料館で資料ネットが撮影・記録し、目録を作成した。引揚時のマニュアル「遣送便覧」（SN6-2・3）や「満洲移民の手引」（6）、満州国ポスター（5）、引揚証明書（19）、「満洲帝國全圖 及北支明細圖」（1）など多様な満州関係資料を含む計200点で、高知県からも多くの移民を送り出した旧満州の歴史を知る重要資料群。引揚時重要品入れ袋（36）、虻牛開拓団の引揚者が持っていた紙製トランク（31）などモノ資料も充実している。オーバーコート（32）や大日本国防婦人会たすき（37）など、桂浜の龍馬像を建設した入交好保氏の中国引揚げ時の資料も含まれる。

(2) 主要資料

●「遣送便覧」（SN6-2・3）

満州コロトウから日本への引揚時、船に乗る前の日本人の引揚者に配られたマニュアル。携帯できる物品や薬品、現金、引揚証明書と引揚の手続きなどが詳細に記されている。崎山ひろみ氏の父・崎山信義（のぶよし・引揚の中隊長、新京の「長春日僑俘連絡処」（戦後日本人の処理をした機関））の朱書きがある。引揚者は2000人が大隊、200人が中隊、50～100人が小隊で引揚者は編成されたことが分かる。国立国会図書館に収蔵なし。満州からの引揚の実態を知る重要資料。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル					簡易版
SN6	崎山ひろみ資料					
内容	崎山ひろみ氏(高知市)が収集した満州関係資料。書籍類は高知大学図書館、資料類(紙・モノ)は高知県立歴史民俗資料館に寄贈された。※目録は資料類のみ					
分類	満州関係					
点数	200点(写真、詔書、冊子、切手、紙幣、布製品、トランク等)					
年代域	昭和7～24年					
資料保管先	高知県立歴史民俗資料館・高知大学図書館					
概要	○	詳細	○	データ	△(一部)	高知戦争資料保存ネットワーク
		調査者		資料ネット		作成年月日 2017年10月10日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル					高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
SN6	崎山ひろみ資料			調査者	高知戦争資料保存ネット	作成年月日	2017年10月10日
年代域	昭和7～24年			資料群の作成年月日		2013年2月に収集資料を高知県立歴史民俗資料館に寄贈	
作成者名称	崎山ひろみ(1930年6月3日)			サイズ	バンケース3箱		
資料保管先	高知県立歴史民俗資料館						
記録資料伝来	崎山ひろみ氏(高知市)が収集した満州関係資料。資料は2013年2月に県立歴史館に寄託、書籍類は2017年9月に高知大学へ移管(担当は吉尾寛教授)、資料類(紙・モノ)は高知県立歴史民俗資料館に寄贈された。※目録は資料類のみ。						
作成者経歴	崎山(さきやま)ひろみ氏は1930年満州撫順市生まれ、終戦当時は新京で家族と暮らしていた。実際に目にした満州開拓団の人々の苦難や戦後に聞いた体験など引揚げの歴史を知り、退職後、「私のいた満州はどうして成り立って、終焉を迎えたのか歴史を知りたい。二度と同じ道を歩ませないのが私の使命」と資料収集を始めた(2013年2月23日『高知新聞』朝刊)。また、満州出身者らを集めた「満州会」を組織し事務局を務めた。満州での体験の語り部を務めるほか、満州の歴史を語り継ぐ会(副会長)を2018年に立ち上げ、次世代に満州の体験を引き継ぐ活動も行っている。						
内容・点数	200点(写真、詔書、冊子、切手、紙幣、布製品、トランク等)						
資料の保管状態	紙資料、布製資料、写真とも比較的状态が良い。						
法的位置づけ	高知県立歴史民俗資料館						
次代の保管者・保管先	高知県立歴史民俗資料館						
利用条件	○						
データ	△(一部史料は写真データあり。モノ資料は一部のみデータあり)						
出版情報	なし						
関連文献	高知新聞2013年2月23日夕刊						

(5) 詳細版目録

資料名	整理番号	作成者	作成年月日	資料ネット		概要	データ
崎山ひろみ資料	SN6	資料ネット	2017年10月10日	点数	年代域	出版社	
資料番号	内容	分類					
1 満洲帝國全圖 及北支明細圖	満洲と中国北部の地図	地図		1	昭和17年版(昭和17年1月15日発行)	盛文館(発行)	○
2 遣送便覧	本物のコピー(カラー)。引き揚げ準備の手引き書。縦18 ³ / ₈ ×横13 ³ / ₈	冊子		1	昭和21年7月25日発行「民國三十五年七月二十五日」	東北導報長春分社(発行)	△(裏表紙のみ撮影)
3 遣送便覧	復刻版(版本)。引き揚げ準備の手引き書。縦28 ³ / ₈ ×横18 ³ / ₈	冊子		1	昭和21年7月25日発行「民國三十五年七月二十五日」	東北導報長春分社(発行)	△(裏表紙のみ撮影)
4 真 長春日僑俘連絡処職員集合写真	新京の「長春日僑俘連絡処」(戦後日本人の処理をした機関)での職員の写真の集合写真のコピー。本からコピー。	紙		1	昭和21年8月		○
5 満洲国ポスター	「五族協和」「王道楽土」など国策の宣伝ポスターのコピー。本のカラーコピー。	紙		1	—		○
☆6 満洲移民の手引	移民の手引き書のコピー。縦18 ³ / ₈ ×横13 ³ / ₈	冊子		1	昭和14年11月	韓北満洲移民後援會、昭和14年11月1日手島孝一著。	△(裏表紙のみ撮影)
7 小学校修了證書	小学校の卒業証書。縦27 ³ / ₈ ×横29 ³ / ₈	証書		1	昭和18年3月25日	新京白菊在満国民学校	○
8 修業証明書	女学校の三年修了証明。縦27 ³ / ₈ ×横29 ³ / ₈	証書		1	昭和21年3月31日	新京敷島高等女学校校長	○
9 満洲国勲章	満洲国皇帝が訪日した際の記念証。	勲章		1	四月卯日	大日本帝国造幣局製	○
10 満洲国バッジ	バッジ	バッジ		3			○
11 満洲國勲章	「20世紀デザイン切手 13集解説文」使用済み9枚。未使用1枚。黒い台紙に10枚の切手を貼る。	勲章		1			○
12 満洲國切手(10枚)		切手		1		満洲帝国発行	○
13 満洲國協和会写真	新京周辺の写真、協和会の集合写真等。98枚(大9枚、中30枚、小59枚)	写真		98			○
14 「帰順匪武器返納式」「帰農費ヲ受ケル匪首」「匪賊の誓約書」「女性図画の写真(2)」	匪賊帰順関係の写真。手書きの誓約書で指印がある。白黒	写真		5	康德二年十一月十五日(誓約書)		○
15 満洲國協和会第一次全国工作員代表協議会の写真、白黒	満洲國協和会第一次全国工作員代表協議会の写真、白黒	写真		1			○
16 満洲時代の母子写真	蓮井ユリエ(母)・西岡秀子(娘)が遠陽で撮った写真	写真		1			○
17 満洲時代の遠陽の白塔 父	蓮井秀藏(父)が遠陽の白塔前で撮った写真	写真		1			○
18 引揚証明書	蓮井秀藏氏のソ連(シベリア)からの引き揚げ証明書。カラーコピー。	紙		1	昭和24年6月18日	舞鶴引揚援護局長	○

資料 番号	タイトル	内容	分類	点数	年代域	出版社	概要	データ
19	引揚証明書	蓮井ユリエ氏の満洲からの引き揚げ証明書。カラーコピー。満洲遼陽から香川へ帰る。	紙	1	昭和21年/7月20日	厚生省博多引揚援護局長	蓮井ユリエ氏の満洲からの引き揚げ証明書。カラーコピー。裏表。満洲遼陽から香川へ帰る。「3000」円支給の青印あり。「満国交付済」	○
20	退去証明書	蓮井ユリエ氏の満洲遼陽からの退去証明書。カラーコピー。裏表。	紙	1	昭和21年6月29日「民国三十五年六月二十九日」	遼陽日橋善後連絡処	裏面に予防注射「チブス」「コレラ」の記録あり。	○
21	退去証明書	蓮井一江さんの満洲遼陽からの退去証明書。カラーコピー。裏表。	紙	1	昭和21年6月29日「民国三十五年六月二十九日」	遼陽日橋善後連絡処	裏面に予防注射「チブス」「コレラ」の記録あり。3歳	○
22	退去証明書	蓮井秀子さんの満洲遼陽からの退去証明書。カラーコピー。裏表。	紙	1	昭和21年6月29日「民国三十五年六月二十九日」	遼陽日橋善後連絡処	裏面に予防注射「チブス」「コレラ」の記録あり。1歳	○
23	通帳證券其他預り證(第一類日本國関係)	簡易保険・生命保険その他の証明書。蓮井ユリエ宛	紙	1	昭和21年6月9日「民国三十五年六月九日」	遼陽日橋善後連絡処	封筒「引揚	○
24	満洲中央銀行発行紙幣		紙幣	4	戦前	満洲中央銀行発行	4枚「壹角、五角、拾圓、壹圓」	○
25	大日本帝國政府 支那事業行賞 賜金國庫債券 九拾圓		紙幣	1	昭和15年発行			○
26	満洲國紙幣 百圓		紙幣	1	昭和7年6月発行	満洲中央銀行		○
27	満洲関係写真	満洲で撮影した写真	写真	2	戦前		原正之さんは協和会関係。「康徳六年十月末日 新京忠霊塔前ニテ」「北満當舖の入口」	○
28	「満洲帝國政府四釐公債証書」など債権・証書類		証書	35		経済部大臣、満洲興業銀行	竹林政巳所持品。娘の藤崎道代さんから寄贈。満洲にいた。9種類35枚。	○
29	「社員貯金通帳」「引き揚身分申告書」など債券類		債券、通帳、申告書、儲金簿	20			竹林政巳所持品。娘の藤崎道代さんから寄贈。。満洲にいた。11種類20枚	○
30	教育勅語	教育勅語、筒入り	証書	1			筒(「教育勅語宮崎神宮」の金字)あり。高村潔の所持品。	○
31	トランク	紙製のトランク	トランク	1			高村潔(当時10歳、高知市浅橋通)は虹牛開拓団の引き揚げ者。お父さんの形見として紙製トランクを持って帰ってきた。中に衣類を入れた。上部持ち手部分に「HINOMARUNo.20」と表記あり。以下崎山メモ「トランク皮製53×33×15cm、メーカー-HINOMARUNo.20、O提供者 高村潔O」「満洲」四平省昌図県虹牛峠高南郷開拓団より引揚げ時、10歳で父の遺品(兵役中1945年7月病死)のトランクの中に衣類などを入れ持ち帰ったもの。家族、母、兄、弟、妹と5人で引揚げ。重いのによくがんばったと思う」	○
32	オーバーコート他日の丸の旗		毛織物	2			入交好保氏が中国より引き揚げ時、夫妻が持ち帰ったもの。考える村に保存してあった。入交好保氏の要請で清・遼寧省古氏は天津の東洋公司で働いていた。その後旭地区より出征したようだが詳細は不明	×
33	胸章 入交好保		布地	1			中国より引き揚げ時のもの	×
34	胸章 入交俊		布地	1			中国より引き揚げ時のもの	×
35	引揚先 地名記入の胸章		布地	1			中国より引き揚げ時のもの	×
36	引揚時重要品入れ袋		布製	1			中国より引き揚げ時のもの。「重要品入れ袋」と墨書あり	×
37	日の丸の旗 清藤壽吉君へ		布製	1			入交好保所持品	×
38	大日本国防婦人会たすき		布製	1			入交好保所持品	×
39	大日本国防婦人会メダル		金屬製	1			入交好保所持品	×

第 3 章 高知空襲関係資料

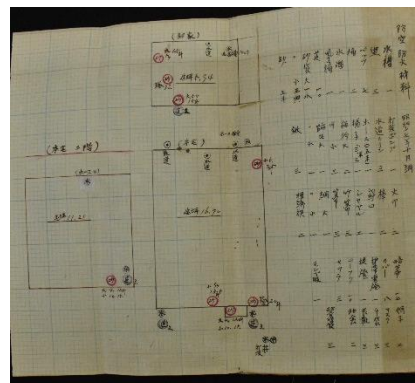
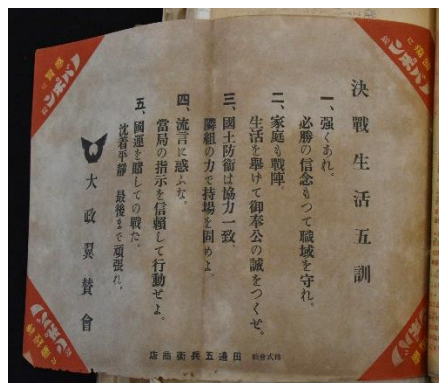
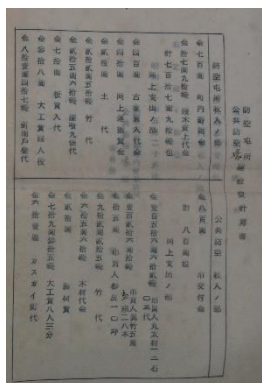
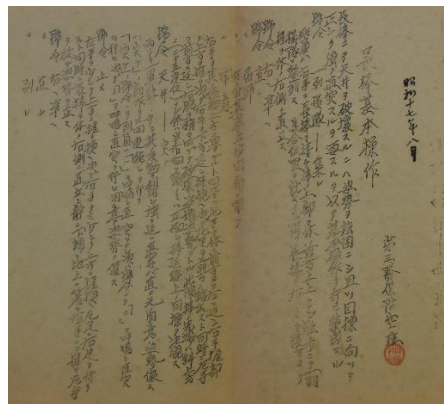
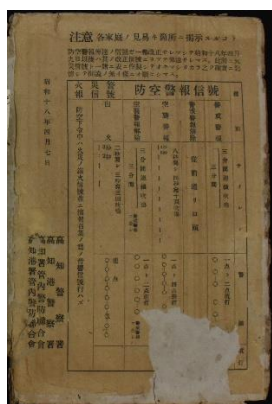
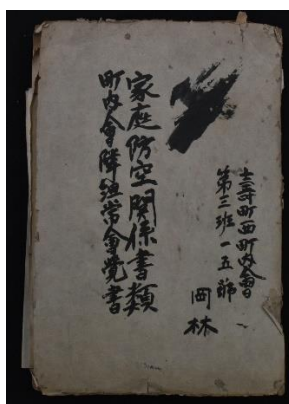
(1) 解題

高知市升形の平和資料館草の家は、土佐中高校教諭だった西森茂夫（1938～2004）が私財を投じて建設した資料館。1989年11月に電車通りの南側にオープンし、西森が館長に就任した。高知大空襲や満州・韓国、戦争遺跡などの戦争調査および戦争資料の収集を行っている。収集資料の整理は不十分で、同館から資料ネットが相談を受け、複数回に分けて書籍資料を中心に目録作成・保存整理を行った。整理した資料数は248点だが、まだ他にも家庭から寄贈された戦争資料が多くある。多くは戦争に関連する戦前・戦後の書籍であるが、戦時中に高知県内に作られた防空組合に関する書類綴類が重要資料。高知市寿町の「家庭防空書類」(SN5①-102)、安芸郡吉良川村上町第三区の「國民貯蓄家庭防空組合規約」(1938年、SN5①-101)、『國民防空讀本』(1939年、SN①-75)、『隣保防空の指針』(1941年、大日本防空協會高知縣支部編纂、SN5①-76)が高知の空襲に関する資料群として残っている。

(2) 主要資料

●「家庭防空書類」(SN5①-102)

1942～45年の高知市寿町町内会の隣組に組織された防空組合の会議録や地区の配布文書など約100枚を綴じ込んだ書類綴。1937年に施行された防空法に基づく、民防空の最末端資料。高知署などが家庭向けに示した空襲火災への備え「日常実行十則」(1942年)▽空襲時警報の説明書(1943年)▽防空屯所・公共防空壕の設備計画書(1945年)なども綴じ込まれている。「防空の現場である高知の隣組の実態を伝え、戦時下の国民生活の一端を示す貴重な史料」(聖心女子大学・土田宏成教授)である。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル				簡易版
SN5	平和資料館草の家資料				
内容	高知市升形の平和資料館草の家が収集を行っている戦争資料の収集群の一部。多くは戦争に関連する戦前・戦後の書籍であるが、戦時中に高知県内に作られた防空組合に関する書類綴類が重要資料。				
分類	高知空襲				
点数	248点(本・雑誌・教科書・参考書・漫画・文書・詔書・綴本・切符)				
年代域	明治20年～昭和36年				
資料保管先	平和資料館草の家				
概要	○	詳細	○	データ	△(一部) 高知戦争資料保存ネットワーク
		調査者	資料ネット	作成年月日	2017年5月9日・6月13日・7月11日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル				高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
SN5	平和資料館草の家資料		調査者	資料ネット	作成年月日	2017年5月9日・6月13日・7月11日
年代域	明治20年～昭和36年		資料群の作成年月日			
作成者名称			サイズ			
資料保管先	平和資料館草の家(段ボール2箱・封筒)					
記録資料伝来	平和資料館草の家が長年収集した資料群。書籍類が大半を占める。社会主義、共産主義関係の書籍のほか、戦時期の雑誌や教科書なども含まれる。吉良川や高知市内の町内会の防空関係史料、書籍が特徴的。配給衣料品受渡簿、衣料切符も貴重な史料。資料伝来は教科書類に書かれた署名などから「細川家」「杉本家」「大石家」「加藤家」「植田家」「川崎家」などから持ち込まれたものが含まれると推測される。					
作成者経歴						
内容・点数	248点(本・雑誌・教科書・参考書・漫画・文書・詔書・綴本・切符)					
資料の保管状態	書籍類は比較的状态が良い。史料類は一部紙の破損なども見られるため、別に封筒に入れて保管した					
法的位置づけ	平和資料館草の家					
次代の保管者・保管先	平和資料館草の家					
利用条件	○					
データ	△(一部史料のみ写真データあり。書籍類はなし)					
出版情報	なし					
関連文献	なし					

(5) 詳細版目録

○SN5①

資料名		資料番号		作成者	作成年月日				
平和資料館草の家資料		SN5①		資料ネット	2017年5/9.6/13(39～), 7/11(61～)				
番号	タイトル	内容・作成者	分類	点数	年代域	収蔵場所	出版社	概要	データ
1	マルクス全集第一巻資本論第一巻【一】		本	1	大正9年 9月15日	草の家	大鐙閣	※6版、初版は大正九年六月十五日	×
2	資本論第一巻第一冊		本	1	昭和2年10月3日発行	草の家	改造社		×
3	資本論第一巻第二冊		本	1	昭和2年12月3日発行	草の家	改造社		×
4	資本論第三巻(下)		本	1	昭和3年4月23日発行	草の家	改造社	第5回配本	×
5	資本論第3部第4分冊	長谷部文雄譯	本	1	昭和25年8月31日発行	草の家	日本評論社	第11冊	×
6	日本獨占資本の解剖	鈴木茂三郎	本	1	昭和10年4月18日発行	草の家	学藝社		×
7	明治開化期文學集	山本三生編纂	本	1	昭和6年1月20日発行	草の家	改造社	現代日本文學全集第一篇	×
8	大東亜戦争宣戦の大詔謹解	関根文之助	本	1	昭和17年2月15日発行	草の家	起山房	米英への宣戦布告の内容の解説	×
9	宣戦大詔謹解		本	1	昭和17年3月30日発行	草の家	朝日新聞社刊	米英への宣戦布告の内容の解説	×
10	臨時中央協力會議録	大政翼賛会	本	1	昭和15年12月	草の家		○秘マーク、大政翼賛会結成時の會議録	×
11	國防國家と臣道實踐	木嶋一光著	本	1	昭和16年1月2日発行	草の家	大東出版社		×
12	定本国民座右銘	日本文學報國會編	本	1	昭和19年5月10日発行	草の家	朝日新聞社刊		×
13	海國日本少年	山内大藏著(海軍大佐)	本	1	昭和18年3月30日発行	草の家	鶴書房	新日本國民選書	×
14	世界經濟地理—資本主義世界の部—	コムアカデミー—經濟學研究所經濟學部編、經濟地理研究會譯	本	1	昭和9年4月15日発行	草の家	義文閣版		×
15	民衆政治を目指して	第56議會における社会民衆党代議士の演説	本	1	昭和4年4月20日発行	草の家	日本民衆新聞社発行。		×
16	三人	ゴーリキー全集第四巻、訳者：青木俊三	本	1	昭和4年10月15日発行	草の家	共生閣発行。		×
17	左翼戦線と仏教	三浦三玄洞著。宗教思想問題叢書1	本	1	昭和8年7月11日発行	草の家	大鳳閣書房発行。		×
18	家庭報国废物利用五百種	主婦の友七月号付録	雑誌	1	昭和13年7月1日発行。	草の家	主婦の友社発行。		×
19	大衆の友11月号		雑誌	1	昭和7年11月30日発行	草の家	日本プロレタリア文化連盟出版部発行。		×
20	赤ちゃん記念帖		本	1	昭和9年1月30日発行	草の家	日本徴兵保険株式会社発行		×
21	戦争論入門	SLマレー著、杉山謙一訳	本	1	昭和15年1月18日発行	草の家	万里閣発行。		×
22	大杉栄論集、自由の先駆	大杉栄著	本	1	大正13年3月9日発行	草の家	株式会社アルス発行。		×
23	中等教育 家事新教科書 下巻	編者 社団法人佐保會	本	1	昭和6年9月29日発行、訂正第4版昭和12年1月23日発行	草の家	株式会社至誠堂。		×
24	新選歴史精図西洋史之部	帝国書院編集部編	本	1	昭和11年9月10日発行	草の家	株式会社帝国書院		×
25	別格官弁社山内神社御遺言誌	編者 近森茂樹	本	1	昭和10年8月20日発行	草の家	別格官弁社奉祀期成会発行。		×
26	白米食の廃止に就いて	厚生省衛生局編集	本	1	昭和13年5月6日発行	草の家	國民精神總動員中央聯盟発行。		×
27	LENIN	by A. Losovsky	本	1	Held in Moscow, July, 1924	草の家	Third World Congress of the Red International of Labor Union		×
28	レーニン～階級闘争の大戦略家	ロゾフスキー著 吉山道三訳	本	1	昭和12年6月29日発行	草の家	共生閣発行。		×
29	無産階級戦線の強化	荒畑寒村著 労農パンフレット	本	1	昭和5年7月23日	草の家	労農出版社発行。		×
30	人一生の経済学		本	1	大正13年12月初版発行、改訂第4編17版(大正16年1月15日)	草の家	労働問題研究所発行		×
31	一銭銅貨物語り	阪本勝著	本	1	(大正15年4月12日発行) 大正15年4月15日二版発行	草の家	大阪労働学校出版部発行		×
32	労働者農民の国家と資本家地主の国家	編者 日本プロレタリア文化聯盟	本	1	昭和7年11月10日発行	草の家	日本プロレタリア文化聯盟		×
33	日本資本主義分析—日本資本主義における再生産過程把握	山田盛太郎著	本	1	昭和9年2月21日初版、3月5日第二刷発行	草の家	岩波書店発行		×
34	最近における経済情勢と経済恐慌(上)	日本資本主義発達史講座(第三部 帝国主義日本の現状)、井汲卓一著	本	1	昭和7年5月20日発行	草の家	岩波書店発行		×
35	最近における経済情勢と経済恐慌(下)	日本資本主義発達史講座(第三部 帝国主義日本の現状)、井汲卓一著	本	1	昭和7年6月25日発行	草の家	岩波書店発行		×
36	最近の植民地政策・民俗運動	日本資本主義発達史講座(第三部 帝国主義日本の現状)、鈴木小兵衛著	本	1	(昭和8年2月20日発行)3月11日改訂版発行	草の家	岩波書店発行		×
37	資料月報6・7月号	プロレタリア科学研究所資料部編集	本	1	昭和6年7月15日発行	草の家			×
38	新聞ジャーナリズム		本	1	昭和5年7月1日発行	草の家			×
39	大正公論	軍備問題	本	1	大正11年4月3日	草の家	帝国在郷軍人会本部		×
40①	インタナショナル第1巻第5号	国際社会経済情報	雑誌	1	1927年7月10日	草の家	産業労働調査所編纂		×
40②	インタナショナル 第1巻第6号	〃	雑誌	1	1927年7月10日	草の家	産業労働調査所編纂		×
40③	インタナショナル第1巻第10号	〃	雑誌	1	1927年11月15日	草の家	産業労働調査所編纂		×
40④	インタナショナル第2巻第1号	〃	雑誌	1	1928年1月25日	草の家	産業労働調査所編纂		×
40⑤	インタナショナル第2巻第3号	〃	雑誌	1	1928年3月15日	草の家	産業労働調査所編纂		×
40⑥	インタナショナル第3巻第1号	〃	雑誌	1	1929年1月15日	草の家	産業労働調査所編纂		×
40⑦	インタナショナル第3巻第2号	〃	雑誌	1	1929年2月5日	草の家	産業労働調査所編纂		×
40⑧	インタナショナル第3巻第2号	〃	雑誌	1	1933年3月5日	草の家	産業労働調査所編纂		×

番号	タイトル	内容・作成者	分類	点数	年代域	収蔵場所	出版社	概要	データ
41①	文芸戦線第3巻6号	文学	雑誌	1	大正15年6年1日	草の家	文芸戦線社		×
41②	文芸戦線第3巻10号	〃	雑誌	1	大正15年10年1日	草の家	文芸戦線社		×
41③	文芸戦線第7巻6号	〃	雑誌	1	昭和5年6月1日	草の家	文芸戦線社		×
42①	改造第10巻4号	無産政党進出号	雑誌	1	昭和3年4月1日	草の家	改造社		×
42②	改造第12巻12号	創作特集	雑誌	1	昭和5年12月1日	草の家	改造社		×
42③	改造第13巻4月号	労農ロシア大画報	雑誌	1	昭和6年4月1日	草の家	改造社		×
42④	改造第18巻7月号	人民戦線と日本	雑誌	1	昭和11年7月1日	草の家	改造社		×
42①	婦人サロン第3巻第3号		雑誌	1	昭和5年3月1日	草の家	文藝春秋社		×
42②	婦人サロン第2巻第4号		雑誌	1	昭和5年4月1日	草の家	文藝春秋社		×
42③	婦人サロン第2巻第5号		雑誌	1	昭和5年5月1日	草の家	文藝春秋社		×
44①	セルバン 10月号	日本哲学	雑誌	1	昭和10年10月1日	草の家	第一書房		×
44②	セルバン 11月号	ナチスの対露宣言	雑誌	1	昭和11年1月1日	草の家	第一書房		×
45①	週刊朝日 二月二十八日号		雑誌	1	昭和18年2月28日	草の家	朝日新聞社		×
45②	週刊朝日 十月十日号		雑誌	1	昭和18年10月10日	草の家	朝日新聞社		×
46	週刊毎日 三月二十一日号	増産へカーバイド精一ぱい	雑誌	1	昭和18年3月21日	草の家	毎日新聞社		×
47①	週報 十二月二日号	大東亜戦争一周年第一特集大東亜建設の現況	雑誌	1	昭和17年12月2日	草の家	内閣印刷局		×
47②	週報 四月二十五日号(443号)	皇国隆替の決戦	雑誌	1	昭和20年4月18日	草の家	内閣印刷局		×
48①	科学朝日 2月号	特集・火砲	雑誌	1	昭和17年2月1日	草の家	朝日新聞社		×
48②	科学朝日 6月号	特集・合成化学の世界・南方の科学	雑誌	1	昭和17年6月1日	草の家	朝日新聞社		×
48③	科学朝日 8月号	特集・蚊・防空の科学	雑誌	1	昭和17年8月1日	草の家	朝日新聞社		×
48④	科学朝日2月号	石炭・衣服の科学	雑誌	1	昭和18年2月1日	草の家	朝日新聞社		×
48⑤	科学朝日8月号	兵器戦だ！兵器を知らう	雑誌	1	昭和18年8月1日	草の家	朝日新聞社		×
48⑥	科学朝日9月号	兵器戦だ！兵器を知らう	雑誌	1	昭和18年9月1日	草の家	朝日新聞社		×
49①	子供の科学 七月号	石炭酸樹脂とはどんなものか	雑誌	1	昭和16年6月5日	草の家	誠文堂新光社		×
49②	子供の科学 八月号	廃物から無限の資源	雑誌	1	昭和16年8月1日	草の家	誠文堂新光社		×
49③	子供の科学 十二月号	わが防火陣ととき	雑誌	1	昭和16年12月1日	草の家	誠文堂新光社		×
49④	子供の科学 一月号	西太平洋のまもり	雑誌	1	昭和16年12月29日	草の家	誠文堂新光社		×
49⑤	子供の科学 二月号	マレー沖海戦	雑誌	1	昭和17年1月29日	草の家	誠文堂新光社		×
49⑥	子供の科学 三月号	活躍する飛行機工場	雑誌	1	昭和17年2月28日	草の家	誠文堂新光社		×
49⑦	子供の科学 四月号	南方共栄圏の住民	雑誌	1	昭和17年4月1日	草の家	誠文堂新光社		×
49⑧	子供の科学 五月号	南方の航空基地	雑誌	1	昭和17年5月1日	草の家	誠文堂新光社		×
49⑨	子供の科学 六月号	田舎だ僕らは手傳いだ	雑誌	1	昭和17年6月1日	草の家	誠文堂新光社		×
49⑩	子供の科学 八月号	遭難船の救助	雑誌	1	昭和18年8月1日	草の家	誠文堂新光社、表紙なし、封筒入		
50①	新女苑 第六巻第十二巻	十二月八日の反省	雑誌	1	昭和17年12月1日	草の家	実業之日本社		
51	セウガク一年生		雑誌	1	不明	草の家	小学館		
52	幼年倶楽部昭和13年4月号？		雑誌	1	昭和13年4月号か？	草の家	講談社		
53	露西亜民放	廣岡光治訳	本	1	昭和4年6月15日	草の家	巖松堂書店		
54①	文藝春秋 三月号	東亜建設と国民教育	雑誌	1	昭和17年3月1日	草の家	文藝春秋社		
54②	文藝春秋 三月号	撃ちてしやまむ	雑誌	1	昭和19年3月1日	草の家	文藝春秋社		
55	ドイッチェ・イデオロギー	リャザノフ編マルクスエンゲルス遺稿 由利保一訳・竹沼隼人関	本	1	昭和5年6月15日	草の家	希望閣		
56	司法資料 第百三十五号	治安判事論	本	1	昭和3年12月	草の家	司法省調査課	1～5月号を収録	
57	マルクス學教科書 第4巻		本	1	昭和5年7月10日	草の家	マルクス書房		
58	ソヴェート經濟五年計画とは何か	屋井参市・前川淨共編	本	1	昭和5年7月10日	草の家	世界社		
59	日月金チャン	益子善六	漫画	1	昭和19年4月10日	草の家	共栄出版社		少國民漫画
60①	「米騒動に関する心得」(高知市在郷軍人分会関係文書1)	高知市分会長 早田満郷	文書(紙)	1	大正7年8月	草の家			○
60②	「簡関点呼及び其他二就テノ注意」(高知市在郷軍人分会関係文書2)	高知市分会長 早田満郷	文書(紙)	1	大正8年か？	草の家	高知市在郷軍人分会員殿		○
60③	「高知市長発給兵事関係文書(在郷軍人会関係事項を含む)」(高知市在郷軍人分会関係文書2)	高知市長中島和三	文書(紙)	1	大正7年8月	草の家			○
61	英國産業革命史論	上田貞次郎著	本	1	昭和3年11月10日	草の家	同文館		×
62	高知讀本	高知市教育會	本	1	昭和10年4月10日発行	草の家			×
63	國體の本義	文部省	本	1	昭和12年3月30日発行	草の家			×
64	改訂現代教育學	篠原助市著	本	1	昭和13年1月15日発行	草の家	實文館		×
65	よみかた帳(尋常科一、二學年用)	高知縣教育會	本	1	昭和15年	草の家		「カリヤヨシラウ」の署名あり	×
66	初等科音楽三	文部省	本(横帳)	1	昭和15年	草の家			×
67	改訂版止血法と三角巾の使ひ方	山口正義著	本	1	昭和19年1月20日発行	草の家	國民科學社		×
68	續日本社會主義運動史講話	横溝光暉著	本	1	昭和6年11月20日発行	草の家	松華堂書店		×
69	民族的社會主義論	今中次磨著	本	1	昭和7年7月15日発行	草の家	大畑書店		×
70	滿洲事変と皇國日本の進展	肥田春允先生御講演	本	1	昭和8年6月5日発行	草の家	株式會社似玉堂	昭和八年四月五日午前八時三十分於静岡県立高等女学校講堂	×
71	セルバン7月号		雑誌	1	昭和10年7月1日発行	草の家	第一書房		×
72	文藝學の發展と批判	F・シルレル著、熊澤復六譯	本	1	昭和11年2月17日発行	草の家	清和書店		×
73	國光一月號	大日本國光宣揚會	雑誌	1	昭和13年1月1日発行	草の家			×
74	中央公論三月號 戰時第二年の日本		雑誌	1	昭和13年3月1日発行	草の家	中央公論社		×
75	國民防空讀本	大日本防空協會、内務省計畫局編	本	1	昭和14年6月10日発行	草の家			○
76	隣保防空の指針	大日本防空協會高知縣支部編纂	本	1	昭和16年9月1日発行	草の家			○
77	海軍報道班員現地報告ハワイ・マレー沖海戦	大本營海軍報道部監修	本	1	昭和17年8月10日発行	草の家	文藝春秋社		×
78	決戦栄養学	井上兼雄著	本	1	昭和19年4月10日発行	草の家	高志書房		×
79	詔書		半紙	1	昭和八年三月二十七日	草の家		「御命御璽」、「滿洲國ノ新興二當リ」「遂二連盟ヲ離脱ス」「昔ク人類ノ福祉ニ貢獻セムコトヲ期セヨ」	×
80	中央公論(号数不明)		雑誌	1	不明	草の家	中央公論社	表紙、裏紙が欠如、綴書	×

番号	タイトル	内容・作成者	分類	点数	年代域	収蔵場所	出版社	概要	データ
81	帝国讀本巻之二 尋常科補習用		本	1	明治27年3月26日	草の家	集英堂本店	表紙に墨書「高知縣立高等女學校卒業生川崎千代」 「■■■実業用」	×
82	尋常科補習用 帝国讀本		本	1	明治27年3月26日	草の家	集英堂本店		×
83	尋常小學 新體讀本巻五		本	1	明治27年9月28日	草の家	金港堂書籍		×
84	国語讀本 高等小學校用巻四	坪内雄蔵著	本	1	明治34年8月23日	草の家	帝国書籍		×
85	理科集		本	1	明治36年か	草の家	普及舎		×
86	漢文新讀本	服部宇之吉	本	1	明治42年1月26日	草の家	明治図書		×
87	尋常小學書キ方手本第一學年用甲種	文部省	本	1	明治43年6月5日(昭和60年7月1日再版)	草の家			×
88	男子音楽教科書 初級用1	小川一朗、黒澤隆朝共編	本	1	昭和7年7月10日	草の家	共益商社		×
89	新修 國文	農業學校長協會編、東京農業學校図書刊行會	本	1	昭和9年1月10日	草の家			×
90	尋常 小學算術 第四學年児童用下	文部省	本	1	昭和14年2月10日	草の家			×
91	自然の觀察 教師用 一	文部省	本	1	昭和16年6月13日	草の家			×
92	テホン 上	モンブショウ	本	1	昭和16年8月8日	草の家	大阪書籍		×
93	地理 國土國勢篇	中等學校教科書株式會社	本	1	昭和19年3月20日	草の家			×
94	中學新修身 新教授要目據巻四	中等學校教科書株式會社	本	1	昭和18年7月4日	草の家			×
95	高等科家事 上	文部省、	本	1	昭和19年8月31日	草の家	大阪書籍		×
96	新訂 尋常小學唱歌 第三學年用	文部省	本	1	昭和7年3月	草の家	大阪書籍	裏表紙欠	×
97	日本週報	國民經濟研究協會	雑誌	1	昭和23-25年	草の家			×
98	改造 八月號		雑誌	1	昭和21年8月1日	草の家	改造社		×
99	文学の友8(新しい生活と心をつくる)		雑誌	1	昭和29年8月1日	草の家	人民文学社		×
100	現代思想6／7／8	清水幾太郎責任編集	雑誌	3	1961.6、1961.7、1961.8	草の家	現代思想社		×
101	國民貯蓄家庭防空組合格約	上町第三区	綴本	1	昭和十三年六月か	草の家		20条の防空規約、安芸郡吉良川村上町第三区家庭防空組合格約、家庭坊区組合名簿、貯蓄額名簿	○
102	家庭防空関係書類町内會隣組常置覽書	壽町西町内會第三班一五號 岡林	綴本	1	昭和17年-20年	草の家		高知市内の防空関係書類をまとめたもの	○
103	高知新聞記事「郷土部隊戦記」		綴本	1		草の家		高知新聞のスクラップ	×
104	配給衣料品受渡簿	第十区隣組	綴本	1	昭和19・20年	草の家			×
105	衣料切符(3点)		切符	3	昭和17・18年、昭和19年-21年、昭和25・26	草の家			×

○SN5②

資料名	整理番号	作成者	作成年月日			
平和資料館草の家資料	SN5②	資料ネット	2017年5月11日、6月13日、7月11日			
番号	タイトル	作成者・内容	分類	点数	年代域	概要
1	司法資料第百三十一号・百三十二号	ソウエイト露西亜の法制(前編・後編)	本	2	昭和3年9月・10月	草の家 二冊合冊
2	通信教範第三部上巻	陸連第八十九号	本	1	昭和十八年十月	草の家
3	新思想の解剖全二巻上	高木八太郎著	本	1	大正十一年一月	草の家
4	ロシヤ革命と労働組合	ロソウスキイ著高山洋吉訳	本	1	昭和5年4月13日	草の家
5	我が校の健康教育	高知県女子師範学校附属小学校	本	1	不明	草の家
6	最近統合外国地図 全	中学校師範学校高等女学校地理教科書 理学士山上萬次郎撰著	本	1	明治39年4月6日	草の家
7	帝国書院編纂東洋歴史精図		本	1	昭和3年4月23日	草の家 株式会社帝国書院
8	國體の本義解説叢書國體と修史	文学博士山田孝雄	本	1	昭和18年3月22日	草の家
9	政治的戰略戦術に就ての二断章	村山藤四郎著	本	1	昭和5年1月22日	草の家 希望閣
10	支那	第八号	雑誌	1	明治38年7月10日	草の家 東京 支那雜誌社
11	小学校用土佐史要	青木義正著述	本	1	明治26年9月1日	草の家 版權所有教育書房合
12	尋常小学校國史下巻	文部省	本	1	昭和4年12月10日	草の家 発行大阪書籍株式会社
13	高等小学日本歴史巻二	文部省	本	1	明治44年1月29日	草の家 発行三省堂印刷部
14	中学新修身 新教授要目準據	東京文理大学名誉教授文学博士大瀧甚太郎著	本	1	昭和16年11月21日	草の家 中学校教科書株式会社
15	話 臨時増刊支那事変一年史		雑誌	1	昭和13年7月10日	草の家
16	法律戦線 第九卷第三号	布施辰治主幹	雑誌	1	1930年	草の家 改悪刑法批判 ソビエト権力の刑事政策 同志山宣覽れたーケ年
17	法律戦線 第九卷第三号	布施辰治主幹	雑誌	1	1930年	草の家 改悪刑法批判 ソビエト権力の刑事政策 同志山宣覽れたーケ年
18	子供の科学 第四卷第九号		雑誌	1	昭和16年9月1日	草の家 発行所誠文堂新光社
19	子供の科学 第四卷十月号		雑誌	1	昭和16年10月1日	草の家 発行所誠文堂新光社
20	セルバン 10		雑誌	1	昭和11年10月1日	草の家 第一書房 新しき女性を論ず スペイン動乱詳報 オリンピックの審判「新しき土」
21	セルバン 5月特大号		雑誌	1	昭和10年5月1日	草の家 第一書房 ルポルタージュ四篇 能動精神辞典 スターリン・ウエルズの討論
22	大洋 十一月号日独協同作戦と次の海戦・座談会		雑誌	1	昭和17年11月1日	草の家 文藝春秋社
23	大洋 十二月号大東亜戦争一周年記念特輯		雑誌	1	昭和17年12月1日	草の家 文藝春秋社
24	唯物論研究会機関誌 唯物論研究 第五一号文藝学特輯	1月 1937	雑誌	1	1937年1月	草の家 発行唯物論研究会
25	インタナショナル 第三巻第十一号	国際社会政治経済情報 十二月号	雑誌	1	昭和4年12月7日	草の家 産業労働調査所編輯
26	インタナショナル 第四巻第十一・十二号	国際社会政治経済情報 九・十月号	雑誌	1	昭和5年10月10日	草の家 産業労働調査所編輯
27	インタナショナル 第四巻第十七号	国際社会政治経済情報 特輯号 第五十七号	雑誌	1	昭和5年12月30日	草の家 産業労働調査所編輯

番号	タイトル	作成者・内容	分類	点数	年代域	収蔵場所	出版社	概要	データ
28	インタナショナル 第五巻第一号	国際社会政治経済情報 第五十八号	雑誌	1	昭和6年1月25日	草の家	産業労働調査所編輯		×
29	インタナショナル 第五巻第三号	国際社会政治経済情報 第六十号	雑誌	1	昭和6年2月15日	草の家	産業労働調査所編輯		×
30	戦旗 創刊号	全日本無産者藝術聯盟機関誌 5月1928	雑誌	1	昭和3年5月5日	草の家	全日本無産者藝術聯盟本部		×
31	戦旗 4月号		雑誌	1	昭和5年4月1日	草の家	戦旗社		×
32	人物評論 六月号		雑誌	1	昭和8年6月1日	草の家	人物評論社		×
33	人物評論 八月号	大宅壮一編輯	雑誌	1	昭和8年8月1日	草の家	人物評論社		×
34	人物評論 十二月号	大宅壮一編輯	雑誌	1	昭和8年12月1日	草の家	人物評論社		×
35	文藝戦線		雑誌	1	1929年3月	草の家	文藝戦線社	万国の労働者団結せよ	×
36	文藝 十二月号	第一巻第二号	雑誌	1	昭和8年12月1日	草の家	改造社		×
37	解放 第6巻第十二号	九月震災号	雑誌	1	昭和2年9月1日	草の家	解放社	法律空線・生活哀史・文藝騒動・労働現勢・新人新作	×
38	文藝春秋 二月号	菊池寛編輯	雑誌	1	大正15年2月1日	草の家	文藝春秋社		×
39	文藝春秋 九月号	菊池寛編輯 第十四巻第九号	雑誌	1	昭和11年9月1日	草の家	文藝春秋社		×
40	文藝春秋 四月特別号	菊池寛編輯 第十五巻第四号	雑誌	1	昭和12年4月1日	草の家	文藝春秋社		×
41	文藝春秋 三月特別号	第十八巻第四号	雑誌	1	昭和15年3月1日	草の家	文藝春秋社	芥川賞作品発表	×
42	文藝春秋 九月号	第二十一巻第九号	雑誌	1	昭和18年9月1日	草の家	文藝春秋社	盤石必勝の信念 纏足の頃(芥川賞)石塚喜久三	×
43	文藝春秋 九月号	第十九巻第九号	雑誌	1	昭和16年9月1日	草の家	文藝春秋社	臨戦態勢確立の急務 長江デルタ(芥川賞受賞作)多田裕計	×
44	歴史科学 第四巻第一号	新年号 特輯郷土史研究	雑誌	1	昭和10年1月1日	草の家	白揚社発行		×
45	ソシウス 第二号	浅野研眞主幹	雑誌	1	昭和2年11月10日	草の家	ソシウス書房		×
46	ソシウス 三月号	社会科学月報	雑誌	1	昭和3年3月10日	草の家	ソシウス書房		×
47	ソシウス 六月号	社会科学月報 第二巻第六号	雑誌	1	昭和3年6月10日	草の家	ソシウス書房	思想国難号	×
48	中央公論 大読物特輯号	第五百九十三号	雑誌	1	昭和12年4月1日	草の家	中央公論社		×
49	中央公論 十一月号	第六百三十九号	雑誌	1	昭和15年11月1日	草の家	中央公論社	日独伊同盟と今後の日本 国民性の改造(検討会)	×
50	中央公論 十月号	第六百六十二号	雑誌	1	昭和17年10月1日	草の家	中央公論社	移動演劇 総意の場特輯 歴史の推進力と道義的生命力	×
51	労働者 九月号	第二巻第九号	雑誌	1	昭和2年9月1日	草の家	労働者社		×
52	新興映画 四月号	第二巻第四号	雑誌	1	昭和5年4月1日	草の家	新興映画社		×
53	美術造形 1929.1-2	第二巻五・六号	雑誌	1	昭和4年2月1日	草の家	造形美術家教会本部		×
54	ナッパ 九月号	第二巻第九号	雑誌	1	昭和6年9月5日	草の家	全日本無産者藝術団体協議会		×
55	産業労働時報 七月号	No.23	雑誌	1	1931 JULY	草の家	産業労働調査所		×
56	同志文学 新年号	第二巻第一号	雑誌	1	昭和7年1月1日	草の家	素人社		×
57	働く婦人 一月号		雑誌	1	昭和7年11月1日	草の家	日本プロレタリア文化連盟	※表紙破損	×
58	人物評論 九月号	第一年第七号	雑誌	1	昭和8年9月1日	草の家	人物評論社	「大宅壮一編輯」	×
59	日本婦人 四月号	第八十七号	雑誌	1	昭和16年4月1日	草の家	大日本国防婦人会 総本部	「大日本国防婦人会機関誌」	×
60	進歩 2	第二巻第二号	雑誌	1	昭和10年2月1日	草の家	現代文化社		×
61	文学案内 十月飛躍号	第一巻第四号	雑誌	1	昭和10年10月1日	草の家	文学案内社		×
62	文芸復興 八月号	第一巻第三号	雑誌	1	昭和12年8月1日	草の家	文芸復興社		×
63	家の光 十月号	第十七巻第十号	雑誌	1	昭和16年10月1日	草の家	産業組合中央会		×
64	主婦の友 新年号 勝ち抜く生活建	第二十七巻第一号	雑誌	1	昭和18年1月1日	草の家	主婦の友社		×
65	時局情報 12	第七年第十二号	雑誌	1	昭和18年12月10日	草の家	毎日新聞社	大東亜戦争二周年【特輯】十億の総躍起	×
66	第五学年児童用尋常少額理科書		教科書	1		草の家		奥付破損	×
67	第六学年児童用尋常小学理科書 文部省		教科書	1	昭和11年11月	草の家		裏表紙に「六男 細川稚進」の書き込みあり	×
68	第六学年児童用尋常小学理科書 文部省		教科書	1	明治44年1月	草の家		裏表紙に「細川栄」の書き込みあり	×

番号	タイトル	作成者・内容	分類	点数	年代域	収蔵場所	出版社	概要	データ
69	児童用 尋常小学地理 巻一 文部省		教科書	1	明治43年4月	草の家		奥付下に「細川」のスタンプあり	×
70	尋常小学校用 小学地理附図 文部省		教科書	1	明治43年3月	草の家		裏表紙欠	×
71	尋常小学地理書 巻一 文部省		教科書	1	昭和10年12月	草の家			×
72	尋常小学読本 巻六 文部省		教科書	1	明治43年6月	草の家		裏表紙に「細川」のスタンプあり	×
73	尋常小学 国語読本 巻一 文部省		教科書	1	大正7年2月	草の家		奥付横に「細川マサノブ」の書き込みあり	×
74	尋常小学 国語読本 巻五 文部省		教科書	1	昭和6年10月	草の家			×
75	尋常小学 国語読本 巻六 文部省		教科書	1	昭和7年5月	草の家		奥付に「細川」の墨書あり	×
76	尋常小学 国語読本 巻十一 文部省		教科書	2	昭和5年1月	草の家		「2」は表紙・裏表紙(含奥付)・最後の1枚(2頁)欠	×
77	尋常小学 国語読本 巻七 文部省		教科書	1	昭和9年11月	草の家		奥付に「三男細川雅進」の鉛筆書きあり	×
78	尋常小学 国語読本 巻十一 文部省		教科書	1	昭和12年5月	草の家		表紙・裏表紙等に「尋六男細川雅進」の書き込みあり	×
79	尋常小学 算術書 第四学年 児童用 文部省		教科書	1	明治43年3月	草の家		奥付に「細川」の捺印あり	×
80	尋常小学 算術書 第四学年 児童用 文部省		教科書	1	昭和2年5月	草の家		奥付に「尋四男細川雅進」の書き込みあり	×
81	児童用 尋常小学日本歴史 巻一 文部省		教科書	1	大正元年1月	草の家		奥付に「細川」のスタンプあり	×
82	事情小学國史 下巻 文部省		教科書	1	昭和11年11月	草の家		奥付に「六男細川雅進」の鉛筆書きあり	×
83	尋常小学修身書 巻三 文部省		教科書	1	明治43年9月	草の家		裏表紙裏に「第三学年生細川栄所有」の墨書あり 破損が激しく封筒に入れた	×
84	尋常小学修身書 巻四 文部省		教科書	2	昭和2年11月	草の家			×
85	尋常小学修身書 巻五 文部省		教科書	1	明治44年10月	草の家		奥付下に「細川」のスタンプあり	×
86	尋常小学修身書 巻五 文部省		教科書	1	昭和6年1月	草の家		裏表紙裏に「尋五男杉本進嗣」の書き込みあり	×
87	尋常小学修身書 巻六 文部省		教科書	1	大正2年10月	草の家		奥付に「細川栄」の鉛筆書きあり	×
88	尋常小学修身書 巻六 文部省		教科書	1	昭和5年2月	草の家		裏表紙裏に「尋六女杉本時子」の書き込みあり	×
89	文部省著作 第四学年児童用 高等小学校修身書 発売所 株式会社 国定教科書共同販売所		教科書	1	明治43年4月	草の家		奥付に「第一学年大石佳美」の鉛筆書きあり	×
90	第一学年児童用 高等小学理科書 文部省		教科書	1	昭和7年3月	草の家		裏表紙裏に「高一男細川雅進」のペン書きあり	×
91	第二学年児童用 高等小学理科書 文部省		教科書	1	昭和10年11月	草の家		奥付に「昭和十五年三月二十三日卒業 二十二号にて 高二男細川雅進所有」のペン書きあり	×
92	農村用 高等小学読本 巻一 文部省		教科書	1	昭和2年12月	草の家		奥付に「高一男細川雅進」のペン書きあり	×
93	農村用 高等小学読本 巻三 文部省		教科書	1	昭和8年12月	草の家		裏表紙に「本山尋常高等小学校 高二男 細川雅進 高二男 細川雅進」のペン書きあり	×
94	高等小学 読本 池永厚 西村正三郎 合著 第三		教科書	1	明治20年12月	草の家		裏表紙に「瀬戸高等小学校生徒 第二学年 加藤秀夫 控」の墨書あり	×
95	高等小学國史 下巻 文部省		教科書	1	昭和14年3月	草の家		表紙裏に「高知県長岡郡本山町」「高三男 細川雅進所有」などのペン書きあり	×
96	模範 大科学習書 高等一年後期 東京 学習社 発行		参考書力	1	昭和13年9月	草の家	全科目に関する参考書か	表紙裏に「高知県長岡郡本山町 古田 親友 右城順一君」、裏表紙裏「高一 細川雅進」	×
97	一番正しい学習参考書 模範大全科 尋常六年後期 東京 学習社 発行		参考書力	1	昭和12年9月	草の家		奥付に「六男 細川雅進」の書き込みあり	×
98	実業教育 綜合日本史 栗田元次著 東京同文書院 発行		教科書	1	昭和8年11月	草の家		奥付裏に「農業学校 1年A組 植田一栄」の墨書あり	×
99	一番正しい学習参考書 模範大全科 尋常四年後期 東京 学習社 発行		参考書力	1	昭和10年3月	草の家		奥付裏に「尋四男 細川雅進」の書き込みあり	×
100	尋常小学 全学科表解 第三学年後期用 交盛館		参考書力	1	大正12年7月	草の家			×
101	一番よくわかる 理科の正解 高等二年用 小学教育研究会編 大阪 日本出版社 東京		参考書力	1	昭和14年1月	草の家		裏表紙に「第二学年五組男子 細川雅進」とあり ※「雅進」は「雅進」の可能性も	×

（１）解題

四国ビエの研究者・佐藤省三（さとう・しょうぞう）氏が所蔵していた高知の空襲関係資料５点。安芸市空襲の時にグラマンが発射した機銃弾・薬莢（KK3-1・2）、昭和20年1月19日の空襲で高知市神田に落ちた焼夷弾の破片（KK3-3）、広島市の原爆ドームで採取した花崗岩製の石柱片（KK3-4）など。複数の空襲関係に関する実物資料として貴重。調査レポートあり。

（２）主要資料



1・2



3



4

（３）簡易版目録

資料番号	タイトル	簡易版
KK3	佐藤省三資料	
内容	元中学校教員で焼畑雑穀の研究者、佐藤省三氏（安芸市）が所蔵していた戦争関係のモノ資料計4点（グラマン機銃弾1点、薬莢1点、焼夷弾破片1点、原爆ドームの石柱片1点）の写真と、資料に関わる活字資料1点（PDF）。	
分類	空襲・原爆	
点数	モノ資料計4点（安芸空襲で採取したグラマン機銃弾1点・薬莢1点、高知市内の空襲で採取した焼夷弾破片1点、昭和30年代に採取した原爆ドームの石柱片1点）の写真と、資料に関わる活字資料1点（佐藤省三2004「戦中の記憶」『睦』60号）	
年代域	1945年・2004年ほか	
資料保管先	安芸市	
概要	○	詳細 ○ データ ○ 高知戦争資料保存ネットワーク
	調査者 楠瀬慶太	目録作成年月日 2016年8月21日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル					高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
KK3	佐藤省三資料				調査者 楠瀬慶太	目録作成年月日	2016年8月21日
年代域	1945年、2004年ほか				資料群の作成年月日		
作成者名称	佐藤省三(さとう・しょうぞう)				サイズ		
資料保管先	佐藤省三宅(安芸市)						
記録資料伝来	佐藤省三氏が戦中戦後に採取した空襲・原爆関係の資料を自宅で保管していたもの。関連する活字原稿も出版している。						
作成者経歴	佐藤省三。1926年2月11日生安芸市出身。青年学校・新制中学校を経て、高知市の青年師範学校に2年半通った。先生になる直前に召集され、昭和20年1月半ばに陸軍に入隊して善通寺で終戦を迎えた。吉良川や中芸地区、安芸(畑山)などで理科、音楽の教員で教師を約40年間務めた。安芸中学校の養護学級教員で退職。音楽では声楽などを教えた。50歳ごろから焼畑、雑穀に興味を持ち、雑穀研究会に入会。以後ライフワークとして全国の焼畑栽培地を訪ね、2008年には『土佐民俗』に掲載された論文(イネ科の雑穀・シコクビエの研究)で平尾学術奨励賞を受賞した。2017年12月29日死去。						
内容・点数	4点						
資料の保管状況	自宅の封筒に入れて保管、サビなどはあるが保存状態は良い						
法的位置づけ	安芸市						
次代の保管者・保管先	不明						
利用条件	公開可						
データ	○						
出版情報	佐藤省三2004「戦中の記憶」『睦』60号						
関連文献							

(5) 詳細版目録

資料名	佐藤省三資料				資料番号	KK3				
詳細番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述レベル	内容	公開可否	写真	現物	写真番号
1	「機銃弾」	米軍	1945年6月	1	モノ(写真)	安芸市空襲の時にグラマンが発射したのを採取した。防空監視哨が銃撃を受けたが犠牲者はなかった。12.7ミリの機銃弾1点(真鍮製)	○	○	×	KK3-S1～9
2	「葉莢」	米軍	1945年6月	1	モノ(写真)	安芸市空襲の時にグラマンが発射したのを採取した。防空監視哨が銃撃を受けたが犠牲者はなかった。真鍮製	○	○	×	KK3-S1～9
3	「焼夷弾破片」	米軍	1945年1月19日	1	モノ(写真)	焼夷弾の破片は、昭和20年1月19日の空襲で高知市神田に落ちたもの。当時自分は青年師範学校に通っていたので近くに住んでいた。昼間、空襲警報が鳴ってヒューという音とポンポンという軽い音がした。明くる日に田んぼに(50* ₀ ～100* ₀ ?)の焼夷弾が落ちた穴が20箇所くらい空いていた。帰りがけにふと電柱を見たら傷があり、その下に爆弾の破片があったので持って帰った。焼夷弾の破片は少ないのでは。鉄製で縦4センチ、横2センチ、高さ1センチほど。	○	○	×	KK3-S10～15
4	「原爆ドーム石柱片」		昭和30年代	1	モノ(写真)	原爆ドームの石柱片は、昭和30年代に広島市にいた時に採取した。当時は自由に立ち入りできたので採取もできた。花崗岩で三角柱形、5センチ×3センチ×3センチ(厚み)。	○	○	×	KK3-S16～18
5	「戦中の記憶」	佐藤省三	2004年発行	1	戦争体験記	佐藤省三2004「戦中の記憶」『睦』60号。機銃弾、葉莢、焼夷弾破片の採取状況などについて記述している。PDFにして保管。	○	○	×	KK3-S19

第4章 高知県関係近現代資料

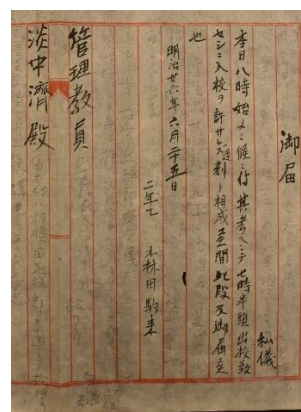
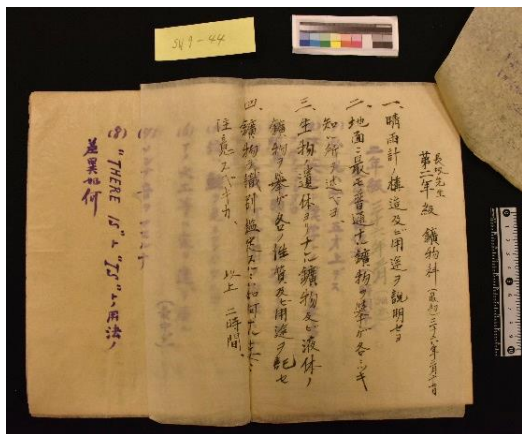
(1) 解題

森田家は旧香美郡佐岡村（現香美市土佐山田町西後入）の旧郷土の家で、子孫は数家に分かれ、江戸期には郷土や庄屋を務めた。明治初年の戊辰戦争では、本家の森田団右衛門（団八郎）が土佐藩の主力部隊「迅衝（じんしょう）隊」に参加した¹⁾。明治維新後に一族は酒造業や医師、村長、地主として地域に重きをなし、分家からは衆議員議長・京都市長を務めた森田茂を輩出している。森田家所蔵の江戸後期～明治初期の古文書の一部は「森田家文書」として土佐山田町教育委員会が調査し、『土佐山田町史料第二巻』（1979年）に翻刻されている。明治・大正・昭和期の資料群も多く残存しているが未調査だった。ここで紹介する森田家文書はこの近現代資料の一部である。団右衛門が戊辰戦争で上京中に購入した書籍や海南中学校（現小津高校）に通った団右衛門子息の一止・駒来らの試験問題・教科書類、「蚕業取締吏員巡回日誌」「土佐茶業案内」「龍河洞平面図」など産業資料を含む計 239 点。海南中に関する教育資料が豊富で、明治期の高等教育を知る上で重要な資料である。「家宅建築日誌明治廿三年ヨリ至内廿七歳」（SN9-57）は森田家の住宅建築に関する記録で、建築史の関係資料として面白い。資料群は森田家子孫の相談を資料ネットが受け、複数回に分けて撮影記録・保存整理を行い、所蔵者に返却している。調査レポートあり。

(2) 主要資料

●海南中学校関係資料 (SN6-21・33・34・38～54)

明治 31～37 年にかけての森田一止・駒来の兄弟が通った高知市の海南中学校で使用された現有文書の写しや教科書類 20 点。海南中は明治 6 年 8 月に東京で開設された土佐藩主・山内家経営の海南私塾が前身で、後に海南学校となる。昭和 6 年、県立城北中学校と合併して県立海南中学校と改称。昭和 24 年に小津高校となった。海南中の資料は散逸したとみられるが、森田家文書には当時の試験時間割・遅刻届・忘れ物届・海南立行団の趣意書など現有文書を多く含んでおり、当時の学校運営の実態を知る資料として貴重である。



¹⁾ 森田家には「段袋（だんぶくろ）」と呼ばれる形式の土佐藩の初期の軍服が残っている。段袋は、袖や襟口にボタンが付いた洋服の上に和服、動きやすさを重視してはかまを短く切ってはく服装。はかまの裾の白線は土佐藩兵の特徴。

(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル					簡易版
SN9	森田家文書					
内容	香美郡佐岡郷(香美市土佐山田町)の郷士・庄屋だった森田家に伝わった文書群(森田家文書)のうち、明治～昭和期のものを抜粋して記録					
分類	戦時期雑誌、海南中、産業					
点数	239点(写真はがき(越知・伊野・手結・龍河洞・奈良・室戸)、戦時期雑誌・地図、幼年学校問題、海南中学生勤怠賞罰表等、蚕業取締吏員巡回日誌))					
年代域	明治初期～昭和期					
資料保管先	高知市					
概要	○	詳細	○	データ	○	高知戦争資料保存ネットワーク
		調査者	資料ネット	作成年月日	2018年5月8日	

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル				高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
SN9	森田家文書			調査者	資料ネット	作成年月日 2020年12月12日
年代域	明治初期～昭和期			資料群の作成年月日		
作成者名称	森田団右衛門・一止・駒来・正敏・忠明			サイズ		
資料保管先	高知市					
記録資料伝来	香美市土佐山田町西後入の森田家に伝わった文書群。江戸後期～明治初期の古文書は『土佐山田史料』に翻刻されているが、明治～昭和期の文書も多数ある。文書は子孫宅に伝来している。					
作成者経歴	○森田団右衛門(もりた・だんえもん、後に団八郎と改称)は江戸末期・明治初期の森田家本家当主で、旧香美郡佐岡村西後入在住。戊辰戦争で土佐藩「迅衝隊」5番隊所属。今市の戦いで負傷し、横浜の病院に入院、その後江戸の土佐藩屋敷に何日かいて帰国。○森田一止(いっし)は団右衛門の長男。海南中出身。息子は正敏(同仁病院の初代理事長)○森田駒来(こまき)は、団右衛門の次男。海南中出身。高知県庁に入り安芸で養蚕関係の仕事をしていたが、一止が亡くなり佐岡に帰郷。戦後は地主恩給をもらっていた。日本蚕糸(現ファッションセンター・シマムラ周辺)にも務めた。○森田忠明は駒来の長男、大正14年11月生、拓殖大で学徒動員となったが終戦間際で出征しなくてすんだ。美良布森林組合を経て高知県庁に入庁し、消防学校長で退職。退職後は県観光連盟にも務めた。					
内容・点数	220点(写真はがき(越知・伊野・手結・龍河洞・奈良・室戸)、戦時期雑誌・地図、幼年学校問題、海南中学生勤怠賞罰表等、蚕業取締吏員巡回日誌))					
資料の保管状態	紙資料、布製資料、写真とも比較的状态が良い。					
法的位置づけ	森田家子孫が所持					
次代の保管者・保管先	不明					
利用条件	○					
データ	○					
出版情報	土佐山田町教育委員会1979『土佐山田町史料第2巻』					
関連文献	『土佐藩兵の軍服発見』『高知新聞』2018年1月20日朝刊、楠瀬慶太・石川恵太・大内田将爽・大和敦子2020「西後入」『土佐中東部の荘園故地を歩く―第1分冊：大忍庄・葦生郷・山田郷故地調査報告書―』(地域資料叢書21、奥四万十山の暮らし調査団編)					

(5) 詳細版目録

資料群名 森田家文書				資料番号	SN9	詳細版		
詳細番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量・規模	記述レベル	内容	公開可否	写真・現物
1	「少年倶楽部第二十四巻第一号評判力士勢揃ひ大相撲大画報・海国男子万歳双六」			1 双六			○	○ ○
2	志那見学大地図 勝利に輝く志那事変絵日記			1 地図			○	○ ○
3	自浄其意 天真(印)			1 書			○	○ ○
4	東郷元帥の手形 東郷侯爵家御所蔵			1 1枚紙	雑誌付録か		○	○ ○
5	組立飛行機集	グリコ株式会社編		1 付録(冊子)			○	○ ○
6	万国国旗集			1 冊子	面白くて為になるグリコ文庫		○	○ ○
7	「明治天皇御絵巻しおり」「幼年倶楽部標語札」			1 しおり	「明治天皇御絵巻しおり」(1枚)「幼年倶楽部標語札」(6枚)		○	○ ○
8	土佐茶葉案内			1 冊子	高知県の茶葉案内		○	○ ○
9	龍河洞平面図			1 地図			○	○ ○
10	「蚕業取締吏員巡回日誌」	森田吏員		1 日誌	冊子(綴り・簿冊)大正五年五月三十一日安芸町川北村		○	○ ○
11	軍事諸庙願控綴 森田氏 陸軍兵籍規則			1 冊子	簿冊・綴り		○	○ ○
12	越知名所			1 写真はがき			○	○ ○
13	室戸名所絵葉書 土佐室戸町或善商店発行			1 写真はがき			○	○ ○
14	手結風景 絵葉書	北村商店発行		1 写真はがき			○	○ ○
15	長春日/出町有名ナル志那旅館			3 写真はがき	3枚		○	○ ○
16	鳥村はやお?			1 写真			○	○ ○
17	小舟山絵葉書			1 写真はがき	越知町		○	○ ○
18	土佐伊野絵葉書			1 写真はがき			○	○ ○
19	「龍河洞平面図」「高知県香美郡迫村逆川郵便はがき」(9枚)			9 写真はがき			○	○ ○
20	奈良名勝絵葉書			10 写真はがき	10枚		○	○ ○
21	高知県中学海南学校生徒第十二学年試業成績並勲怠賞罰表			1 冊子	成績表		○	○ ○
22	森田団八郎御進展(森田時男)、入交好徳名刺			2 名刺	入交好徳(好保の父、森田家から6代昔に嫁にいった)、時男→実際の字は「特男」		○	○ ○
23	はがき森田駒来様			4 ハガキ	4枚。森田茂妻鹿愛、孫日本画家曠平連名で3枚、二・二六事件幣助者大岸頼好より1枚。		○	○ ○
24	奇傑 坂本龍馬の歌			1 冊子			○	○ ○
25	東京泉岳寺義臣傳			1 綴じ本	森田団右衛門の注記あり		○	○ ○
26	江城日誌十三巻			1 綴じ本	森田団右衛門の注記あり		○	○ ○
27	山内陽堂公清氣歌			1 綴じ文書	容堂漢詩を書写したものか。「九十九外史」		○	○ ○
28～32	森田団八郎文書	森田団八郎		1 原稿用紙4枚	杉板16枚、杉三歩板16枚などを盗難された事件の文書控え。盗難届等、高知軽罪裁判所。事件は明治19年、明治20年4月7日処分。		○	○ ○
33	幼年学校生徒問題	森田一止?		1 原稿用紙綴	テスト問題の写し。明治30年度、31年度。中学校の優秀な人が幼年学校へ入る。海南中で勉強していたものか。		○	○ ○
34	地方幼年学校生徒問題	森田一止?		1 文書綴	テスト問題の用紙?明治30年4月4日		○	○ ○
35	サンデー毎日臨時増刊 総選挙画報			1 雑誌	昭和3年3月発行、森田茂写真あり		○	○ ○
36	アサヒスポーツ			1 雑誌	大正13年11月15日 朝日新聞社発行		○	○ ○
37	NEW CROWN READERS No.1			1 教科書	英語の教科書。「高知県立城東中学校 巻の参 森田正敏所持」と裏書がある。表紙など一部の撮影。		○	△ ○
38	萬国小歴史 全			1 教科書	歴史の教科書。墨書で「森田一止」と裏書あり。随所に赤墨や鉛筆で「試験ヌカス」など追記あり。一部のみ撮影。		○	△ ○
39	高等科用 帝国読本 巻之一	学海指針社編	明治27年	1 教科書	高等科用の教科書。表紙など一部の撮影。		○	△ ○
40	海南立行団結会趣旨	海南立行団結会	明治22年	1 文書	海南中学校長の許可を得て、生徒全員で組織した海南立行団結会の趣旨書(1枚文書)。「団員ハ礼義ヲ尊ビ士氣ヲ鼓舞シ義勇ヲ相教ヒ苟モ男子タルノ本分ヲ失セザルヲ以テ本旨トス」など3箇条を記す。		○	○ ○
41	海南学校生徒父兄御中	吉田弘起ほか4人	明治37年 2月20日	1 文書	山内侯爵からの下賜金を海南中の書籍や器械購入に宛てる旨の文書。		○	○ ○
42	【規約】	発起人	明治35年 12月27日	1 文書	5条の規約。海南中設立に資金を提供した山内侯爵家に金5円相当の献上品(「京総代が代行」の費用を、12月の授業料徴収時に集めることなどが記されている)		○	○ ○
43	【試験問題】		明治34年度	1 文書綴	海南中の漢文・英語の試験問題。4枚。青焼き		○	○ ○
44	【試験問題】		明治36年3月	1 文書綴	海南中の歴史・漢文・地理・数学・算術・文法・倫理の試験問題。10枚。青焼き		○	○ ○
45	【試験問題】		明治34年度	1 文書綴	海南中の仮名・国語・数学・英語試験問題。6枚。青焼き		○	○ ○
46	【試験時間割表・試験十科目表・試験問題】		明治37年度	1 文書綴	歴史・修身・地理・国語・英語・算術の試験問題。試験時間割表・試験十科目表が挟まれている。11枚。青焼き		○	○ ○
47	明治参拾陸歳度第参歳級試験問題	姥谷居士	明治36年 3月21日	1 文書綴	漢文・英文法・英会話作文・代数・幾何・生理科・歴史科・地理科・漢文科・国語科・倫理の試験問題。試験時間や教官も記されている。原稿用紙綴。15枚。香美郡佐岡村字西後入姥谷居士と巻末に書名あり。		○	○ ○
48	用器面			1 文書綴	海南中学の青印、森田の赤印あり。幾何の図形や関数グラフが鉛筆で記されている。28頁。		○	○ ○
49	寄留処御届	森田一止	明治33年 11月16日	1 文書	海南中5年級の森田一止が高知市北新町の親族の家に寄留することを校長・吉田数馬に届けた文書(案文)。		○	○ ○
50	手続書	森田一止・森田団八郎	明治31年 12月29日	1 文書	唐傘を森田一止の不注意で食堂へ忘れ、本人も後悔しているので、学校で取得していれば返してほしい旨を父・森田団八郎が海南中学校長宛に記した手続書(案文)。		○	○ ○
51	御届	森田駒来	明治36年 6月25日	1 文書	海南中2年の森田駒来の遅刻届(案文)。管理教員の淡中清宛て。		○	○ ○
52	【遅刻証明書】	森田団八郎	明治36年1月	1 文書	海南中の森田駒来が事故あって遅刻した旨を父・団八郎が説明した文書(案文)		○	○ ○
53	【紐下広告】	徳久染工場		1 文書	高知市山田町山田橋北詰の徳久染工場が生徒向けの紐下の値段を案内した広告。		○	○ ○
54	割引券	土田熊次		1 券	高知県立第一中学校・高知県立農学校御用達の高知市中新町2丁目の土田熊次が販売する新製靴、修履の割引券。		○	○ ○
55	相模国鎌倉名所及心嶋全図		昭和29年	1 地図	相模国鎌倉名所の地図		○	○ ○
56	土佐山田駅列車・バス、時刻表	土佐山田駅	昭和35年6月	1 時刻表	土佐山田駅の列車・バスの時刻表		○	○ ○
57	家宅建築日誌明治廿三年ヨリ至内廿七歳	森田正武	明治23~27年	1 冊子	森田家の家宅建築の過程や道具等を記した日誌。横帳。		○	○ ○
58	地券		明治14~20年	163 地券	森田家所有地の地券。		○	○ ○

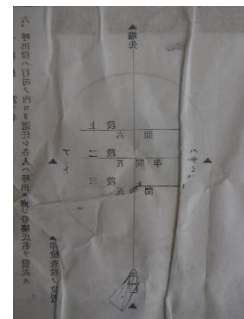
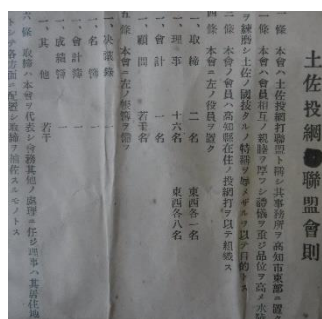
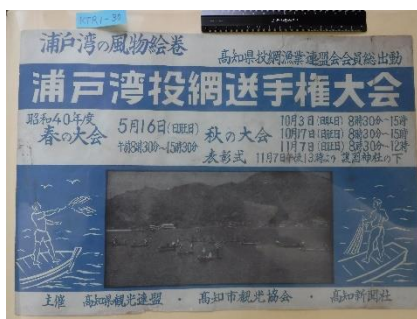
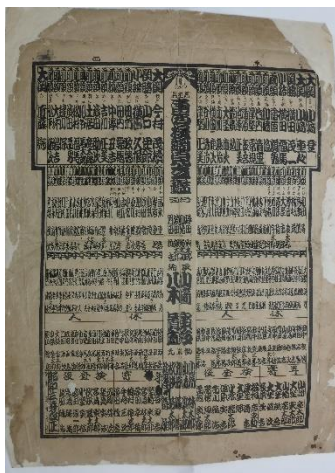
（1）解題

土佐投網は長宗我部時代、武士の足腰を鍛錬するために奨励され、発展したとされている。底が丸く広がる網を両手で投げる際、網を「片方のひじに掛ける」投げ方が特徴。高知市の浦戸湾を中心にボラやチヌ漁の漁師や遊漁者に広まって伝わった。古くから投網の腕を競う番付大会も開かれ、魚の漁獲を競う「浦戸湾回し打ち」と、陸上でいかに遠く広く投げるかを競う「陸網（おかあみ）」で技術向上を図っている。高知県投網連盟資料は、同連盟が保管する番付表などを含む 125 点の資料群。陸網による高知県大会と浦戸湾投網選手権大会のおける昭和 25 年以降の番付表が残されており、大会と会員の変遷が追える。娯楽的に行われていた投網が、高知市観光の一環で活用されていく昭和期の観光政策を垣間見ることができる。2017 年 6 月に同連盟から資料ネットに資料記録の相談があり、高知市内で資料の撮影記録を行った。

（2）主要資料

●番付表

網打大会の参加者を相撲の番付に見立て、東西の大関・関脇・前頭などに熟練度に応じて序列化し載せた番付表。最も古いものは、昭和 3 年の「高知県東西投網見立鑑」（KTR1-1）で、最も新しいものは平成 29 年の「平成二十九年度高知県投網連盟陸上大会番附」（KTR1-125）。昭和 25 年以降の連盟の変遷（土佐投網打漁業協同組合→土佐投網漁業組合→土佐投網連盟→高知県網打連盟→高知県投網連盟）や大会名の変遷もたどることができる。「浦戸湾投網選手権大会」のチラシ（KTR1-30）や廻打、陸網競技会の細則が記された「土佐投網連盟会則」（KTR1-32）も附属資料として参考になる。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル	簡易版
KTR1	高知県投網連盟資料	
内容	高知県投網連盟所蔵の資料群。陸網による高知県大会と浦戸湾投網選手権大会のおける昭和25年以降の番付表が残されており、大会と会員の変遷が追える。娯楽的に行われていた投網が、高知市の観光の一環として活用されていく昭和期の観光政策を垣間見ることができる。	
分類	投網・陸網	
点数	125点(番付、会則、ポスター等)	
年代域	昭和3年、昭和25～平成29年	
資料保管先	安芸市	
概要	○	詳細 ○ データ ○ 高知戦争資料保存ネットワーク
	調査者	資料ネット・野尻幸弥・小松満次 2020年12月14日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル	高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
KTR1	高知県投網連盟資料	調査者 資料ネット・野尻幸弥・小松満次	作成年月日 2020年12月14日
年代域	昭和3年、昭和25～平成29年	資料群の作成年月日	平成29年までにファイリングして整理
作成者名称	小松満次	サイズ	
資料保管先	安芸市		
記録資料伝来	高知県投網連盟に引き継がれた資料を平成22-29年に会長を務めた小松満次氏が保管していた。		
作成者経歴	小松満次(こまつ・まんじ)は元高知市消防司令長。平成22-29年に高知県投網連盟会長を務めた。		
内容・点数	125点(番付、会則、ポスター等)		
資料の保管状態	良好		
法的位置づけ	県投網連盟が保管		
次代の保管者・保管先			
利用条件	公開可		
データ	○		
出版情報	網心編集委員2006『網心 伝統土佐投網の歴史』高知県投網連盟		
関連文献	高知県投網連盟ホームページ(http://tosatoami.web.fc2.com/index.html)		

(5) 詳細版目録

資料名 高知県投網連盟資料				資料 番号	KTR1			
詳細 番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述レ ベル	内容	公開 可否	写真 現物
1	高知県東西投網見立鑑		昭和3年	1	番付表	高知県の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
2	昭和二十五年度土佐投網打漁業協同組合陸網番附	土佐投網打漁業協同組合	昭和25年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
3	昭和二十五年度浦戸湾投網選手権大会		昭和25年	1	番付表	昭和二十五年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知市、土佐観光協会、高知新聞社。	○	○
4	昭和二十六年度土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和26年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
5	昭和二十六年度浦戸湾投網選手権大会		昭和26年	1	番付表	昭和二十六年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
6	昭和二十七年土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和27年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
7	昭和二十七年土佐投網打漁業組合陸網番附		昭和27年	1	番付表	昭和二十七年土佐投網打漁業組合に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
8	昭和二十八年度土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和28年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
9	昭和二十八年度浦戸湾投網選手権大会		昭和28年	1	番付表	昭和二十八年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
10	昭和二十九年土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和29年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
11	昭和二十九年土佐投網打漁業組合陸網番附		昭和29年	1	番付表	昭和二十九年土佐投網打漁業組合に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
12	昭和三十年度土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和30年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
13	昭和三十年度浦戸湾投網選手権大会		昭和30年	1	番付表	昭和三十年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
14	昭和三十一年度土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和31年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
15	昭和三十一年度浦戸湾投網選手権大会		昭和31年	1	番付表	昭和三十一年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
16	昭和三十二年土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和32年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
17	昭和三十二年土佐投網打漁業組合陸網番附		昭和32年	1	番付表	昭和三十二年土佐投網打漁業組合に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
18	昭和三十三年土佐投網打漁業共同組合陸網番附	土佐投網打漁業共同組合	昭和33年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
19	昭和三十三年度浦戸湾投網選手権大会		昭和33年	1	番付表	昭和三十三年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
20	昭和三十四年度土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和34年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
21	昭和三十四年度浦戸湾投網選手権大会		昭和34年	1	番付表	昭和三十四年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
22	昭和三十五年度土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業共同組合	昭和35年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
23	昭和三十五年度浦戸湾投網選手権大会		昭和35年	1	番付表	昭和三十五年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
24	昭和三十六年度土佐投網打漁業組合陸網番附	土佐投網打漁業組合	昭和36年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
25	昭和三十六年度浦戸湾網打連盟大会番附		昭和36年	1	番付表	昭和三十六年度浦戸湾網打連盟に際して作られた番付表。大会名の名称変更が行われている。主催等の記述はなし。	○	○
26	昭和三十七年度土佐網打漁業組合陸網番附	土佐網打漁業組合	昭和37年	1	番付表	高知県の陸網の投網巧者を大関・関脇など相撲の番付に見立てて紹介したもの。	○	○
27	昭和三十八(七)年度高知県網打漁業連盟大会番附	高知県網打漁業連盟	昭和37年	1	番付表	昭和三十八(七)年度高知県網打漁業連盟大会に際して作られた番付表。	○	○
28	昭和三十八年度高知県網打漁業連盟大会番附	高知県網打漁業連盟	昭和38年	1	番付表	昭和三十八年度高知県網打漁業連盟大会に際して作られた番付表。	○	○
29	昭和三十八年度浦戸湾投網選手権大会		昭和38年	1	番付表	昭和三十八年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
30	浦戸湾投網選手権大会	高知県投網漁業連盟会	昭和40年	1	チラシ	昭和40年の浦戸湾投網選手権大会のチラシ。大会は春の大会(1日間)、秋の大会(3日間)の2回開催されている。キャッチコピーは浦戸湾の風物絵巻。	○	○
31	涼を呼ぶ浦戸湾遊覧船	高知マリン		1	ポスター	浦戸湾遊覧船のポスター	○	○
32	土佐投網連盟会則	土佐投網連盟		1	番付表	土佐投網連盟の会則。廻打、陸網競技会の細則も記されている。	○	○
33	昭和三十九年度高知県網打連盟陸上大会番附	高知県網打連盟	昭和39年	1	番付表	昭和三十九年度高知県網打連盟陸上大会に際して作られた番付表。	○	○
34	昭和三十九年度浦戸湾投網選手権大会		昭和39年	1	番付表	昭和三十九年度浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
35	昭和四十年高知県投網連盟陸上大会番附	高知県投網連盟	昭和40年	1	番付表	昭和四十年高知県投網連盟陸上大会に際して作られた番付表。	○	○
36	昭和四十年高知県浦戸湾投網選手権大会		昭和40年	1	番付表	昭和四十年高知県浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
37	昭和四十一年高知県投網連盟陸上大会番附	高知県投網連盟	昭和41年	1	番付表	昭和四十一年高知県投網連盟陸上大会に際して作られた番付表。	○	○
38	昭和四十一年高知県浦戸湾投網選手権大会		昭和41年	1	番付表	昭和四十一年高知県浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○
39	昭和四十二年高知県投網連盟陸上大会番附	高知県投網連盟	昭和42年	1	番付表	昭和四十二年高知県投網連盟陸上大会に際して作られた番付表。	○	○
40	昭和四十二年高知県浦戸湾投網選手権大会		昭和42年	1	番付表	昭和四十二年高知県浦戸湾投網選手権大会に際して作られた番付表。主催は高知県観光連盟、高知市観光協会、高知新聞社。	○	○

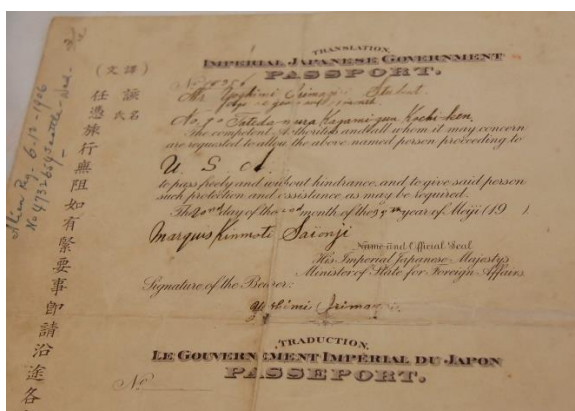
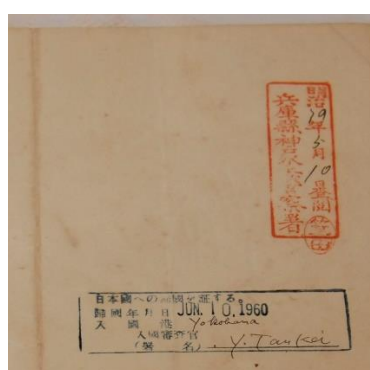
(1) 解題

明治末期にアメリカ・カリフォルニアに南国市から移民した入交好省（いりまじり・よしみ）の資料群計4点。好省は、桂浜・坂本龍馬銅像の建設発起人として知られる社会運動家・入交好保（1903～1996）の叔父。アメリカ人の雇われでコックをして生計を立て、59年間アメリカで暮らした後、南国市に帰国。死後遺産で南国市民図書館の入交文庫（約1600冊）が作られた。渡航時の旅券（KK6-1）は明治39（1906）年にアメリカに渡った時に作成されたもの。高知からのアメリカ移民の最盛期は1904～1907年と推測されており（間宮國夫2008「一九〇〇年代アメリカにおける高知県移民の態様」『土佐史談』238）、最盛期の移民だったことが分かる。香美史談会主催「入交好保翁を偲ぶ会」で、好保氏の親族が持参していた好省の資料を資料ネットが撮影・記録させてもらい、聞き取りも行った。調査レポートあり。

(2) 主要資料

●日本帝国海外旅券（KK6-1）

入交好省が明治39年にアメリカへ渡航した際に発行された旅券（パスポート）。表面は日本語の旅券で、外務大臣・西園寺公望名で発行、裏面は英語で表記されている。表に「高知県下附」、裏面に「兵庫県神戸水警察署」の朱印が押されており、乗船時の出国手続きは神戸で行われたとみられる。また、1960年に横浜へ帰国した際のハンコも押されている。



(3) 簡易版目録

資料番号 KK6	タイトル 入交好省資料					簡易版
内容	南国市出身の社会運動家・入交好保の叔父・入交好省(よしみ、好保父・好徳の弟)がアメリカに渡った(明治39年)際の旅券1点、好省氏の写真1点、『高知新聞』関連記事PDF2点を含む資料群					
分類	アメリカ移民					
点数	4点(明治末期の旅券1点、写真1点、高知新聞記事PDF2点)					
年代域	明治39年4月20日					
資料保管先	南国市					
概要	○	詳細	○	データ	○	高知戦争資料保存ネットワーク
		調査者		楠瀬慶太		作成年月日 2016年9月28日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル				高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
KK6	入交好省資料			調査者	楠瀬慶太	作成年月日 2016年9月28日
年代域	明治39年4月20日ほか			資料群の作成年月日		
作成者名称	入交好省			サイズ		
資料保管先					南国市	
記録資料伝来	社会運動家の入交好保氏の親族が保管。晩年、鉄のフライパンと古い旅券をトランクに入れて家に置いている。					
作成者経歴	入交好省(いりまじり・よしみ)＝南国市立田出身、99歳で死去＝は、社会運動家・入交好保(桂浜・坂本龍馬銅像の建設発起人)の父・好徳の弟。23歳の時にアメリカ・カリフォルニアに移住。59年ほど暮らした。アメリカ人の雇われでコックをしていたため、太平洋戦争時収容所には収監されなかったと聞いている。旅券は明治39年にアメリカに渡った時に作成されたもの。帰国後は南国市に居住。好省さんの遺言を受けて南国市民図書館に好省さん遺産の寄付金(600万円)で購入した書籍(1600冊)でつくられた入交文庫がある。					
内容・点数	4点(旅券1点、好省写真1点、『高知新聞』関連記事PDF2点)					
資料の保管状態	旅券の保管状態はよいが、折り目部分で文字が薄れ、紙の破損が一部見られる					
法的位置づけ	南国市の親族が保管					
次代の保管者・保管先						
利用条件	公開可					
データ	○					
出版情報						
関連文献	昭和56年8月9日『高知新聞』朝刊、昭和57年5月25日『高知新聞』朝刊					

(5) 詳細版目録

資料名	入交好省資料				資料番号	KK6			
詳細番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量・規模	記述レベル	内容	公開可否	写真	現物
1	「日本帝国海外旅券」	外務省	明治39年4月20日	1	旅券	入交好省氏がアメリカに移住した際に外務省が発行した旅券。右側には、日本語で好省氏の本籍地や身分(「学生士族」)、年齢(二十二年十一月九日)が記され、「右ハ北米合衆国赴ク二つき付通路故障ナク旅行セン且必要ノ保護扶助ヲ与ヘラレン事ヲ其筋ノ諸官ニ希望ス」と記述されている。「高知県麾下附」の朱印も押印されている。左側には英語で同旨が記されている。裏面には明治19年5月10日の「神戸水上警察署」の朱印、入国審査官による横浜帰国の青印が押されている。	○	○	○
2	「入交好省写真」			1	写真	入交好省氏の晩年の写真	○	○	○
3	「高知新聞記事 図書費に使って 南国市に600万円寄贈」	高知新聞	昭和56年8月9日	1	新聞記事	入交好省氏の遺言で遺産600万円を図書費として南国市に寄贈したとの朝刊記事	○	PDF	○
4	「高知新聞記事 『入交文庫』開く 南国市民図書館」	高知新聞	昭和57年5月25日	1	新聞記事	南国市民図書館に、入交好省氏から寄贈された遺産を使って購入した本をおさめた「入交文庫」が開設されたとの朝刊記事	○	PDF	○

(1) 解題

1916年設立の土佐史談会（事務局：オーテピア高知図書館内）が保管していた古写真を含む資料群6点。古写真は、大正と昭和の史跡探求会の写真2点（SN2-1・2）と戦後の平尾道雄氏による古文書教室写真1点（SN2-3）。高知新聞の土佐史談会100年の連載記事取材中に、当時高知県立図書館内にあった古写真を借用、記録させてもらった。調査レポートあり。

(2) 主要資料

●土佐史談会古写真 (SN2-1・2)

大正14（1925）年の「土佐史談会手結史蹟探求會写真」（SN2-1）と、昭和4（1929）年の「円行寺行土佐史談会探求記念写真」（SN2-2）。いずれも戦前の史談会の地域活動を知る貴重な史料群。史談会の史跡探求会は、高知市内だけでなく郡部でも地域の青年団や婦人会が関わって開催された。知識人だけでなく民衆にも門戸を広げて大衆化に努め、1929年には会員数1032人に達している。



(3) 簡易版目録

資料番号	タイトル	簡易版
SN2	土佐史談会資料	
内容	高知県の郷土史団体「土佐史談会」の活動を記録した古写真（大正と昭和の史跡探求会の写真2点と戦後の平尾道雄氏による古文書教室写真1点）と関連新聞記事（土佐史談会百周年の軌跡をまとめた連載3回）	
分類	土佐史談会	
点数	6点（古写真3点（スキャン）、関連新聞記事（PDF）3点）	
年代域	大正14年、昭和4年、昭和（戦後）	
資料保管先	土佐史談会事務局（オーテピア高知図書館）	
概要	○	詳細 ○
	調査者	楠瀬慶太
	データ ○	高知戦争資料保存ネットワーク
	作成年月日	2016年7月4日

(4) 概要版目録

資料番号	タイトル			高知戦争資料保存ネットワーク	概要版
SN2	土佐史談会資料			調査者 楠瀬慶太	目録作成年月日 2016年6月3日
年代域	大正14年、昭和4年、戦後			資料群の作成年月日	不明
作成者名称	土佐史談会			サイズ	
資料保管先	土佐史談会事務局(オーデピア高知図書館)				
記録資料伝来	戦後、高知県立図書館に事務局をかまえた土佐史談会が、活動の記録として保管していた。				
作成者経歴	1916年、土佐図書館倶楽部(1912年)を母体に土佐史談会を結成し、会誌『土佐史壇』を発行。戦前の史談会の主な事業は、郷土史家らによる講演会と史跡巡りで、高知市内だけでなく郡部でも地域の青年団や婦人会が関わって開催。知識人だけでなく民衆にも門戸を広げて大衆化に努め、1929年に会員数1032人まで達した。戦時体制下では、紙不足で1943年以降会誌の発行がままならず、講演会や史跡巡りも中止。1945年には会誌の原稿が空襲で焼失し、活動休止を余儀なくされた。1952年、休止していた土佐史談会は、会員58人で活動を再開。会誌「土佐史談」も80号から復刊行。県立図書館に事務局を置き、講演会や史跡巡りも復活。会員は県立図書館や高知市民図書館と連携し、戦災を免れた「長宗我部地検帳」や「皆山集」など古文書や研究書の出版を進める。史談会事務局は、平尾氏や近世史家の横川末吉氏らが机を並べ、坂本龍馬の研究者でもある米プリンストン大学のマリウス・B・ジャンセン氏や外国人留学生も出入りする国際色豊かな一室となっていた。				
内容・点数	6点(古写真(大正と昭和の史跡探求会の写真2点と戦後の平尾道雄氏による古文書教室写真1点)と関連新聞記事3点(土佐史談会百周年の軌跡をまとめた連載3回))				
資料の保管状況	A4サイズの厚紙に写真が貼られ、それぞれ封筒に入れられていた。やや色焼けがある。				
法的位置づけ	土佐史談会が保管				
次代の保管者・保管先	土佐史談会で継続保管				
利用条件	公開可				
データ	○				
出版情報					
関連文献	公文豪2017「土佐史談会百年史(戦前編・上)」『土佐史談』266 公文豪2017「土佐史談会百年史(戦前編・下)」『土佐史談』267 2016年6月23・24・25日『高知新聞』朝刊				

(5) 詳細版目録

資料名 土佐史談会資料				資料 番号	SN2					
詳細 番号	シリーズ名	作成者	年月日	数量	記述レ ベル	内容	公開 可否	写 真	現 物	写真 番号
1	「土佐史談会手結史蹟 探求会写真」	土佐史談 会	1925年8月9日	1	古写真	土佐史談会が香南市夜須町の手結山を史跡巡りで訪れた際の記念写真。A4サイズの厚紙に写真が貼られている。裏面に「大正拾四年八月九日土佐史談会手結史蹟探求会にて手結山で撮影ス」と墨書きあり。	○	○	×	KK2 -S1 -1～ 3
2	「円行寺行土佐史談会 探求記念写真」	土佐史談 会	1929年1月20日	1	古写真	土佐史談会が高知市円行寺の長芝刑場を史跡巡りで訪れた際の記念写真。A4サイズ厚紙に写真が貼られている。裏面に「昭和四年一月二十日(円行寺)土佐史談会史蹟探求記念撮影(午前十時初月村長芝に旧刑場の跡に)」とペン書きあり。	○	○	×	KK2 -S2 -1～ 3
3	「平尾道雄古文書教室 写真」	高知県知 事室	1980年3月1日	1	古写真	『平尾道雄ーその人と史業』(高知県知事室)に収録の 写真。	○	○	×	KK2 -S3
4	「歴史を開拓せよ 土佐 史談会100年の歩み (上)」	高知新聞	2016年6月23 日朝刊	1	新聞	紙面PDFデータ。高知新聞の連載記事「歴史を開拓せ よ 土佐史談会100年の歩み(上)」。筆者は楠瀬慶太記 者。見出しは「戦前 大衆化で会員1000人超え」。	○	○	×	KK2 -S4
5	「歴史を開拓せよ 土佐 史談会100年の歩み (中)」	高知新聞	2016年6月24 日朝刊	1	新聞	紙面PDFデータ。高知新聞の連載記事「歴史を開拓せ よ 土佐史談会100年の歩み(中)」。筆者は楠瀬慶太記 者。見出しは「戦後 老若男女が集まるサロン」。	○	○	×	KK2 -S5
6	「歴史を開拓せよ 土佐 史談会100年の歩み (下)」	高知新聞	2016年6月25 日朝刊	1	新聞	紙面PDFデータ。高知新聞の連載記事「歴史を開拓せ よ 土佐史談会100年の歩み(下)」。筆者は楠瀬慶太記 者。見出しは「現代 変革迫られる“史談の雄”」。	○	○	×	KK2 -S6

本目録集は、公益財団法人高梨学術奨励基金令和2年度若手研究助成「高知県における地域資料の記録とデータ公開」による成果の一部です。

=====

『高知県近現代資料集成 I 一目録集一』（地域資料叢書 20）

編集 高知戦争資料保存ネットワーク

（秋山博子、伊藤嘉高、今井章博、宇賀日香里、小幡尚、大西脩子、大西正祐、大原純一、織田千代子、楠瀬慶太（編集担当）、崎山ひろみ、谷川亘、近森啓二、出原恵三、恒石節子、松本瑛子、望月良親、森田拓男、福田仁、油利崇、矢野正博、横山好史、依光浩美）

発行者 高知大学小幡尚研究室（高知県高知市曙町2-5-1）

発行日 2021年1月10日

印刷・製本：西岡総合印刷株式会社

〒640-8324 和歌山市吹屋町5丁目54

=====